

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		民営化宿泊施設維持				整理番号	86		枝番号		
担当部課名		区民生活部管理課		コード	050101		連絡先電話番号	3754		昨年度整理番号	85
係名 庶務係				上位施策名				No			
予算事業名 民営化宿泊施設維持				コード	12300		生涯学習環境の整備・充実				62
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 14 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区貸与宿泊施設区民宿泊費補助金交付要綱						
	杉並区内在住者				(2) 財産の使用賃借及び宿泊事業に関する契約						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 民営化に伴う区民サービスの低下を招かないための、宿泊費補助金の支給。4施設(湯の里「杉菜」(旧湯河原すぎなみ荘)、コニファー岩櫃(旧すぎなみ自然村)、富士学園、弓ヶ浜クラブ(旧弓ヶ浜学園))についての、大規模修繕及び土地等に関する管理調整。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 多くの区民が低料金で利用し、利用者が心身をリフレッシュできる。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 4施設合計の区民利用者数				(1) 4施設平均の客室稼働率(利用者 / 客室数)							
(2)				(2) 4施設平均の客室定員利用率(利用者 / 定員数)							
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
				計画	実績						
指標	活動指標(1)	人	35,764	31,963	39,550	29,422	39,550	30,550	96.3		
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	61	56	70	58	70	70	83.1		
	成果指標(2)	%	39	37	50	37	50	50	74.3		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	108,509	97,765	131,405	105,127	136,506	特記事項 <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 平成17年度は4事業者のうち2事業者に利益が生じたので、区の歳入は管理監督費として2,984千円となった。			
	(内)投資的経費等	千円									
	(内)委託費	千円	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600				
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.74	1.25	1.30	1.50	1.30				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	6,656	11,375	11,778	13,590			11,778	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0	
	総事業費 + +	千円	115,165	109,140	143,183	118,717	148,284				
	単位あたりコスト(-)÷	円	3,220	3,415	3,620	4,035	3,749				
	財源	受益者負担分	千円	5,945	8,227		2,984				
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	5,945	8,227	0	2,984	0				
差引:一般財源 -		千円	109,220	100,913	143,183	115,733	148,284				
受益者負担比率 ÷	%	5.2	7.5	0.0	2.5	0.0					
17年度の主な取組み	内 容				規模	単位	事業費(千円)				
	利用区民補助金				29,422	人	74,849				
	施設維持管理(4施設)						16,103				
	施設大規模修繕(弓ヶ浜クラブ)						14,175				
	その他 ()						0				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	74.4	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	80.0
	区民の利用が減ってきた。ただし、民営化にしたことによって区外利用者が少しずつ増えている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	前年宿泊実績に基づき、引き続き18年度予算では区民利用者補助金を同額で算出。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	14年度から民営化し、施設を無償貸与した上で経営のすべてを施設借受事業者が行っている。16年度末で当初契約が終了したが各社とも更新を希望し、一部契約内容を見直した上で更新した。経営状況は各社とも個々の事業者の努力により改善傾向にある。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	料金設定や設備に対し苦情や要望はあるが、借受事業者の対応などにより改善されている。また、その数も減少してきている。				
	今後の予測	経年とともに施設・設備の維持修繕費が増大していく中で、区が負担する大規模修繕に係る経費増が見込まれる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 生涯学習を推進していく中で、余暇生活のため廉価で必要なサービスを区民に提供している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 民営化した施設の事業者はそれぞれ集客努力を行っている。区の役割としては、区民利用に対する補助金の支出と、広報紙等でPRの協力を行っていくことになる。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 施設の利用者は直接施設に宿泊料を支払っており、区が主体的に受益者負担についての判断を行う余地はない。民営化にあたっては宿泊補助金の支出を行うことで区民サービスの低下を抑えたが、経営状況によっては受益者負担の増加も想定される。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 民営化によりコストの削減を行った結果の事業であり、これ以上のコスト削減は、当面見込めない。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題: 民営化し、施設を無償貸与したうえで経営のすべてを施設借受事業者が行っている。課題としては、コスト削減等により区民へのサービスを低下が起きないように施設借受事業者に努力してもらう。また、区と施設借受事業者の連絡を更に増やし、各施設の状況に応じた対応をしていく。				
	(3) 協働等の形態 民営化(具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 民営化事業を円滑に継続するため、各施設の状況に応じた対応が必要である。施設のPRの方法を検討するなど対応を行っていく。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	区民利用の促進のため補助金は必要だが、全体の利用者数が減ってきているので18年度よりも微減させる方向。また、管理・維持費は温泉契約更新等があるので若干増になる見込み。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		社会教育委員の会議				整理番号	783	枝番号	
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600701	連絡先電話番号	1662	昨年度整理番号	777
係名 管理係					上位施策名			No	
予算事業名 社会教育委員					コード	80600		生涯学習環境の整備・充実	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 元 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等				
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 社会教育法第13条～18条				
	社会教育行政全般に広く団体や地域の意見等を反映させるための諮問機関				(2) 杉並区社会教育委員の設置に関する条例				
	社会教育行政全般に広く団体や地域の意見等を反映させるための諮問機関				(3) 杉並区社会教育委員の設置に関する条例施行規則				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
社会教育関係団体への補助金交付に対する意見を述べる。教育委員会の諮問に応じ答申したり、建議・提言などを教育委員会に対して行う。				社会教育に関する諸計画を立案する。教育委員会の諮問に応じ意見を述べ、社会教育関係団体・社会教育指導者に対し、意見や指導、助言を与え、生涯学習・社会教育の振興を図る。					
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
(1) 会議開催回数				(1) 社会教育委員の提言等における施策数					
(2) 延会議出席委員数				(2)					

区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標(1)	回	11	10	12	9	12	75.0	
	活動指標(2)	人	93	77	108	79	108	73.1	
	成果指標(1)	件	3	5	5	2	2	100.0	
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,180	971	1,585	1,042	1,886	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等	千円							
	(内)委託費	千円							
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.73	0.75	0.75	0.74	0.74		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	6,566	6,825	6,795	6,704		6,704
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +	千円	7,746	7,796	8,380	7,746	8,590		
	単位あたりコスト(-)÷	円	704,182	779,600	698,333	860,667	715,833		
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	7,746	7,796	8,380	7,746	8,590		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

17年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	社会教育委員の会議開催		9	回	948
	運営事務費		1	式	94
	その他	()			0

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	75.0	活動指標(2)の17年度達成率%	73.1	17年度予算執行率%	65.7
		社会教育委員の会議は、必要に応じて招集されるため、17年度は予定回数を下回った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		委員改選に際し、次回の区民公募の準備を行う。また、委員自ら社会教育センターで行われた「家庭学級」「家庭教育フォーラム」に参加し、家庭・地域の教育力の向上に取り組んだ。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	社会教育を取り巻く状況は大きく変化しており、特に平成13年の社会教育法の改正に伴い、社会教育が学校教育と家庭教育とを結ぶ「かなめ」として位置づけられた。本会議では、地域社会と家庭教育とのかわりにおける社会教育の果たすべき役割を中心に捉え、主に家庭教育振興について話し合った。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	広報、ホームページ等で周知しているものの、依然として、社会教育委員に対する認知度が低いのが現状である。社会教育委員の活動や提言等に関する情報提供も不十分である。					
	今後の予測	今後、増加していく団塊の世代が、社会教育の中で果たす役割は大きくなると思われる。また、地区教育委員会構想も視野に入れ、より地域に密着した社会教育への取り組みのため、今会議の役割・期待も大きく変化していくことが予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:任期(2年)ごとに社会教育全般にわたり、答申や提言、意見等を受けている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:答申や提言に対する取り組みの検証や社会教育関係団体との意見交換など、社会教育委員の活動を活かすための工夫が必要である。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:委嘱委員制度という性格上、受益者負担はなじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容:委員の他都市行政視察について、当分の間見送る。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題:NPO関係者等に社会教育委員を委嘱するなどの可能性はあるものの、現行教育委員会の付属機関という性格上、実現は困難である。					
	(3) 協働等の形態						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 委員改選にあたり、次回で3度目となる区民公募制について、選考方法等を更に検証していく。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 教育委員会の付属機関として設置されており、定められた任期・回数の中で活動していくため、予算の増減はない。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生涯学習振興室の維持運営				整理番号	784	枝番号																																																	
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600701	連絡先電話番号	1663	昨年度整理番号	778																																																
係名 管理係				上位施策名				No																																																	
予算事業名 生涯学習の推進				コード	81000	生涯学習環境の整備・充実				62																																															
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 7年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業																																																				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理 対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 自主的に生涯学習活動を行っている区民及び区内団体。在勤・在学可。				根拠法令等 (1) 教育基本法第7条 (2) 社会教育法第3・5・11条 (3) 杉並区生涯学習振興室要綱																																																				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 会議室（西田2室・杉九3室）・個人学習室（西田1室・杉九1室）の維持運営				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 学校の余裕教室を有効活用し、区民に身近な生涯学習の場と機会を提供する。																																																				
	活動指標名(式) (1) 会議室利用回数 (2) 個人学習室利用者数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 会議室利用率 (2) (代)個人学習室利用者数 ÷ 個人学習室席数施設の維持費/面積:																																																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">15年度実績</th> <th rowspan="2">16年度実績</th> <th colspan="2">17年度</th> <th rowspan="2">18年度計画</th> <th rowspan="2">目標値22年度</th> <th rowspan="2">目標値に対する17年度の達成率%</th> </tr> <tr> <th>計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">指標</td> <td>活動指標(1)</td> <td>回</td> <td>1,227</td> <td>1,277</td> <td>1,400</td> <td>1,396</td> <td>1,400</td> <td>1,500</td> <td>93.1</td> </tr> <tr> <td>活動指標(2)</td> <td>人</td> <td>18,411</td> <td>19,715</td> <td>25,000</td> <td>19,531</td> <td>25,000</td> <td>30,000</td> <td>65.1</td> </tr> <tr> <td>成果指標(1)</td> <td>%</td> <td>30</td> <td>27</td> <td>35</td> <td>26</td> <td>35</td> <td>40</td> <td>65.0</td> </tr> <tr> <td>成果指標(2)</td> <td>%</td> <td>85</td> <td>80</td> <td>101</td> <td>75</td> <td>101</td> <td>122</td> <td>61.5</td> </tr> </tbody> </table>										区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%	計画	実績	指標	活動指標(1)	回	1,227	1,277	1,400	1,396	1,400	1,500	93.1	活動指標(2)	人	18,411	19,715	25,000	19,531	25,000	30,000	65.1	成果指標(1)	%	30	27	35	26	35	40	65.0	成果指標(2)	%	85	80	101	75	101	122
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%																																																	
				計画	実績																																																				
指標	活動指標(1)	回	1,227	1,277	1,400	1,396	1,400	1,500	93.1																																																
	活動指標(2)	人	18,411	19,715	25,000	19,531	25,000	30,000	65.1																																																
	成果指標(1)	%	30	27	35	26	35	40	65.0																																																
	成果指標(2)	%	85	80	101	75	101	122	61.5																																																
総事業費・コスト把握	事業費		千円	18,253	15,926	17,758	17,194	17,646	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) m ² あたりの経費: 15 28千円 16 24千円 17 26千円 18 27千円																																																
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0																																																	
	(内)委託費		千円	16,369	13,670	14,925	14,798	14,813																																																	
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60																																																	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	5,396	5,460	5,436	5,436	5,436																																																	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0																																																	
	総事業費 + +		千円	23,649	21,386	23,194	22,630	23,082																																																	
	単位あたりコスト(-)÷		円	19,274	16,747	16,567	16,211	16,487																																																	
	財源	受益者負担分		千円	69	62	96	97		72																																															
		国・都等からの支出金		千円																																																					
特定財源計 +		千円	69	62	96	97	72																																																		
差引:一般財源 -		千円	23,580	21,324	23,098	22,533	23,010																																																		
受益者負担比率 ÷		%	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3																																																		
内 容																																																									
17年度の主な取組み		事務処理委託				規模	1	単位	式	事業費(千円)	13,428																																														
		光熱水費				規模	1	単位	式	事業費(千円)	1,234																																														
		建物等管理委託料				規模	1	単位	式	事業費(千円)	992																																														
		建物等修繕費				規模	1	単位	式	事業費(千円)	474																																														
		その他 (維持管理費・通信運搬費等)				規模	1	単位	式	事業費(千円)	1,066																																														

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	99.7	活動指標(2)の17年度達成率%	78.1	17年度予算執行率%	96.8
		空調設備の老朽化による不具合が多く、修理費がかかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		設備保守点検委託について積算基準が変更されたため、予算を削減した。小学校校門のオートロック対応のため、利用者への新たな対応が必要になったため、一人体制となっていた時間帯のうち1時間延長した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業展開と学習の場の提供を目的として設置されたが、会議室・個人学習室の場の提供のみの事業になっている。利用者の利便を図るため駐輪場の整備、通年開館(12月31日～1月3日休館)を実施。児童の安全を確保するための学校防犯カメラのモニターの設置、学校敷地内の巡回を実施。個人学習室での電子機器の利用を許可。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	現在生涯学習振興室は、西田小・杉丸小の2校に設置されているが、図書館で学習が出来ないので気軽に学習できる場を増やしてほしい。パソコン等の電子機器の利用を許可してほしい。(平成16年7月実施)電源利用も許可してほしい。複数で相談しながら学習できる場がほしい。					
	今後の予測	団体や個人単位の自主的な学習活動を支援するためにも欠かせない施設であるが、小学校内での児童の安全確保が求められており、学校や地域との協力だけでは対応が難しくなっている。より多くの不特定の利用者が入りやすいような事業展開は、学校の空き教室では児童の安全上の問題からも好ましくない。児童の安全確保を第一に考えた施設の有効利用について、改めて検討する必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:個人あるいは団体の自主的な学習を行う場の需要は非常に高い。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:施設の利用率を高めるため、効果的なPRを実施するとともに、児童の安全確保を考慮した上で、他の施設にはない個人の利用に重点をおいた施設のあり方や多様化する学習環境への対応を考える。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:施設利用料(会議室の光熱費等)の徴収					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:平成14年度に職員人数・人件費・清掃経費を削除した。利用者にとって快適な施設環境と安全を維持するには、これ以上コストを下げることはできない。					
	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
協働等点検	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題 運営業務委託・清掃及び機器保守委託 運営業務をシルバー人材センターに委託することにより、区内の高齢者の就労の場となっている。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 生涯学習活動の振興を目的とした施設であり、広く区民に周知を図ることが必要であるが、常に不特定多数の利用者が入りやすいような利用は子どもたちの安全の確保からも慎重に行う必要がある。身近なところに施設をもっと増やしてほしいという要望については、学校開放施設に限定しないで実現可能な方法内容を考える。事業開始当初、事業展開と学習の場の提供を目的として設置されたが、会議室は他の集会施設との差別化を図るため、また、生涯学習活動の振興を目的とした利用を促すため、団体ではない12～10人程度の他の施設では活動の場が少ない小グループの利用について検討していく。複数の個人の活動を支援することにより、学習を深めたり、地域に広がる活動のきっかけ作りの場としてもらう。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 学校の余裕教室を利用した施設であり、利用上の制約がある。個人利用を重点にした設備面の改善が必要となる。学校以外の場所での新規施設の開設については、他部課との協議・調整が必要である。施設の有効利用をするには、施設のあり方について改めて検討する必要がある。	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	施設が小学校内にあるため子供たちの安全が確保されることが求められ、施設運営の他に学校防犯カメラのモニターの設置や校内の見回りを実施している。平成18年4月から校門がオートロック対応となり、1名では利用者対応が困難なため、受付開始時の1時間について受付職員を増員した。また開設当時から使用している設備の老朽化のため大規模な修繕等が見込まれる。

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年委員活動の支援				整理番号	799		枝番号				
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600716	連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	794			
係名					社会教育センター			上位施策名		No			
予算事業名					青少年教育		コード	81600		生涯学習環境の整備・充実	62		
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区教育委員会非常勤職員規則						
	青少年委員						(2) 杉並区青少年委員に関する規則						
							(3)						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
青少年委員が地域で活動を進めていく上で必要な知識の習得、また共通の認識を深めるため定例会(年6回)と研修会を開催する。					青少年委員の資質を向上し、活動の幅を広げる。地域・区教育委員会・学校を繋ぐパイプ役をより効果的に果たせるようにする。								
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 定例会開催回数					(1) 出席延べ人数 ÷ 定例会開催回数								
(2) 研修会開催回数					(2) 出席延べ人数 ÷ 研修会開催回数								
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度		目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
							計画	実績	計画				
指標		活動指標(1)	回	6	6	6	6	6	6	6	6	100.0	
		活動指標(2)	回	3	3	4	3	4	4	4	4	75.0	
		成果指標(1)	人	40	40	45	42	45	45	45	45	93.3	
		成果指標(2)	人	30	36	45	42	45	45	45	45	93.3	
総事業費・コスト把握		事業費	千円	5,816	5,180	5,189	4,649	6,376	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
		(内)投資的経費等	千円										
		(内)委託費	千円										
		職員数(常勤 非常勤)		人	0.63 1.00	0.63 0.50	0.75 0.33	0.75 0.30	0.80 0.30				
		人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	5,666	5,733	6,795	6,795	7,248				
			非常勤職員分	千円	2,759	1,440	954	867	867				
		総事業費 + +		千円	14,241	12,353	12,938	12,311	14,491				
		単位あたりコスト(-)÷		円	2,373,500	2,058,833	2,156,333	2,051,833	2,415,167				
		財源	受益者負担分	千円									
			国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +	千円		0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -	千円		14,241	12,353	12,938	12,311	14,491						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)				
		青少年委員報酬					42	人	4,016				
		青少年委員研修					3	回	69				
		定例会開催等(印刷費、通信費、負担金)							564				
		その他 ()							0				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	75.0	17年度予算執行率%	89.6
		青少年委員の職務として関わるべき範囲での活動は既に達成されている。予算金額の内訳は委員報酬がおおよそ全体の80%余を占めており、妥当な執行状況と考えられる。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		委員各自が青少年教育に対する高い意識と使命感を保持しつつ、忙しい中で精力的に研修活動や日常の事業活動に取り組んでおり、ほぼ目的は達成されている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和28年度に都の制度として発足した。当時は青少年関連施設が未整備の状態であった。現在は青少年を取り巻く状況も大きく変化して来っており、関連施設の整備も進んでいる。しかし、地域の教育力の低下が、青少年の凶悪犯罪の増加、低年齢化青少年の犯罪被害の増加として端的に現れている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	青少年育成委員会(選出母体)との関係や「学校教育コーディネーター」との対比において、青少年委員の位置づけ、役割が不明確との声がある。					
	今後の予測	教育改革の流れの中で、地区教育委員会や地域運営学校など地域の人々の学校運営参画や地域の教育力向上が求められており、小学校区単位で委嘱している委員には、地域の総合コーディネーターとしてより一層の活躍が求められている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 小学校区での地域教育活動の推進や青少年健全育成事業の推進役として関わりを持っている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 子供を取巻く環境の変化を適切に捉え活動できるよう、研修の内容や定例会での議題を工夫していく。また、青少年への指導等に当たっては、各委員の創意工夫を期待するところである。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 青少年の健全育成のため、委嘱委員として行政の補助的役割等を担って活動している。委員自体は受益者ではない、いわゆる利益を享受する意味での受益者は存在しない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 制度運営の最低限度の経費であり、これ以上のコスト削減は、制度の存立に影響する。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 地域社会の中で青少年委員の自由な発想と活動を支援していく環境を整えるのは行政の役目である。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成17年度杉並区子ども子育て行動計画や、杉並区教育ビジョンの実現に向けた推進計画を踏まえ、青少年委員制度やその活動内容については時代の変化に対応した改革を図っていく必要がある。	
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 委員の選出方法や制度の見直し又、活動内容についての見直しには、委員を始めとして関係する学校や委員の推薦母体である青少年育成委員会の理解が必要である。	
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 現状で青少年委員は地域の教育力において大きな力を発揮していることから19年度は、従来どおりの方向性で望む方針であるが、区長部局への移管も含めて委員制度並びに事業の検討・見直しは引き続き必要である。また、「杉並区教育ビジョン推進計画」の中で地域の総合コーディネーターとして多様な団体等のネットワーク化を図るための核となりうる可能性を見出すことも必要である。	

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年社会参加活動推進				整理番号	800		枝番号							
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600716	連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	795						
係名					社会教育センター			上位施策名		No						
予算事業名					青少年教育		コード	81600		生涯学習環境の整備・充実	62					
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		11年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等									
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 社会教育法第5・7条									
	16歳以上の青年男女とその家族等						(2) 教育ビジョン推進計画									
	16歳以上の青年男女とその家族等						(3)									
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)										
・「不登校・引きこもり」等相談・支援団体との意見交換会の開催 ・「すぎなみしゃべり場」「コミュニケーションに関する講座」 ・「出会いの機会～相談・支援団体の情報提供の場」の実施						関係団体等と協働し、青少年一人ひとりが、講座等への参加をきっかけに、同世代の仲間や地域の大人等と共に活動することで、社会参加ができるようにする。										
活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 意見交換会開催数						(1) 「すぎなみしゃべり場」参加者延べ人数										
(2) 「すぎなみしゃべり場」開催数						(2) 「出会いの機会」参加世帯延べ数										
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度計画		18年度計画		目標値 22年度	目標値に対する17年度 の達成率%				
指標	活動指標(1)		回	198	2	2	2	2	2	2	2	100.0				
	活動指標(2)		回	9	38	45	39	45	45	45	45	86.7				
	成果指標(1)		人	53	234	450	379	450	450	450	450	84.2				
	成果指標(2)		人			50	24	50	50	50	50	48.0				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,522	2,420	3,314	2,940	686		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 18年度より青少年事業の一部移管によって、「杉並青少年情報誌Cedre」製作並びに「子ども読書活動推進」が児童青少年課の所管となったため、事業概要が変更になった。そのため、活動指標(1)並びに成果指標(1)(2)が、それぞれ「編集委員登録者数」「編集委員参加延べ人数」「すぎなみしゃべり場参加者延べ人数」から変わっている。						
	(内)投資的経費等		千円													
	(内)委託費		千円	1,995	2,059	2,764	2,381	350								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.62	0.56	0.99	0.33	1.17	0.34				1.28	0.30	0.70	0.30
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	5,576	9,009	10,600	11,597	6,342							
		非常勤職員分		千円	1,545	950	983	867	867							
	総事業費 + +		千円	9,643	12,379	14,897	15,404	7,895								
	単位あたりコスト(-)÷		円	48,702	6,189,500	7,448,500	7,702,000	3,947,500								
	財源	受益者負担分		千円												
		国・都等からの支出金		千円												
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0									
差引:一般財源 -		千円	9,643	12,379	14,897	15,404	7,895									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									
17年度の主な取組み		内 容					規模		単位	事業費(千円)						
		青少年参加活動推進(謝礼、印刷費、通信費、委託料、消耗品)								2,434						
		青少年自立支援プログラム開発(謝礼、通信費、委託料)								506						
		その他 ()								0						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	86.7	17年度予算執行率%	88.7
		ほぼ計画どおりに執行された。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		区内外で若者の自立支援に関わる各団体、専門家との協働のもと、居場所づくりを実施し、関係団体とのネットワークの構築や対象者への情報提供に取り組んだ。また、18年度は保健行政とも連携し、親を対象とした講座を開催する予定である。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	不登校・引きこもり・ニート等への問題意識は年々高まっており、国や民間においても様々な施策や取り組みが行われている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	不登校・引きこもり・ニート等やその関係者からは、社会参加のきっかけにつながったなどとの声が寄せられ、引き続き自立支援のための取り組みを行うよう強い要望がある。					
	今後の予測	将来社会を担うこととなる青少年が、様々な力を身につけるための施策は今後も変わらずに求められる。不登校・引きこもり・ニート等の数の増加、及びその「高齢化」に対応する取り組みが必要となってくる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 不登校・引きこもり・ニート等が、他者とふれあったり学んだりすることを通して、課題を克服し、自己実現していく機会を提供することができる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 関係団体との協働によって居場所づくりや運営者の養成、ネットワークの構築等に取り組むことで成果を向上させることができる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 社会的な必要性から、公共的な団体がやるべき事業である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 青少年の社会参加に向け、居場所づくりやネットワークの構築等、各団体等との協働によって事業を進めており、コスト削減は適当でない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 成果…直接対象者と関わりを持つ様々な団体や専門家が意見交換会で話し合い、各事業に主体的に協力しているため、ネットワークが構築され、内容が充実してきている。課題…団体や専門家の特徴を活かしながら、一緒に取り組むための調整が課題である。また、「すぎなみしゃべり場」のような居場所づくりでは、対象者の参画も重要である。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 将来、社会を担う青少年の育成という視点から、体験学習の場の提供や自立支援の取り組みは継続して行われるべきであるが、その進め方については、地域団体や関係団体等との協働のもと、対象者の参画も含めて行われるべきである。具体的には、活動や場の運営に対象者と支援者が共に関わり、区は会場提供や広報等そこに必要な支援を行うものとする。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現状では活動や場の運営に対する対象者の参画が十分になされていないため、支援者と協力し対象者へ働きかける。						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 講座や活動を実施することにより、青少年の社会参加を支援する。また、それぞれの取り組みを充実させるべく、関係団体等と協働して、青少年の自立に向けた機会や場を提供していく。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育指導委員				整理番号	803		枝番号		
担当部課名	社会教育スポーツ課			コード	600704	連絡先電話番号	1674	昨年度整理番号	798		
係名	社会体育係				上位施策名			No			
予算事業名	社会体育振興			コード	83400	生涯学習環境の整備・充実			62		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 37 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) スポーツ振興法第19条						
	スポーツをする意欲はあるが、スポーツをする機会が無い(少ない)区民。				(2) 杉並区体育指導委員に関する規則						
	スポーツをする意欲はあるが、スポーツをする機会が無い(少ない)区民。				(3)						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 地域スポーツ普及のための検討及び活動、区民歩こう会(区内、郊外)、スポレク大会・綱引き等。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 日頃、スポーツをする意欲はあるが、スポーツをする機会が無い(少ない)区民を対象に、地域で自分の体力にあったスポーツを見つけ、自主的・継続的にスポーツができるようにする。さらに、地域における人と人とのつながりを広げる。							
活動指標名(式) (1) 会議数及び事業実施回数 (2) 事業参加者				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)事業参加者数 (2) (代)事業参加率 事業参加者数 ÷ 杉並区の人口							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		回	91	73	90	74	90	90	82.2	
	活動指標(2)		人	828	872	900	705	900	1,100	64.1	
	成果指標(1)		人	828	872	900	705	900	1,100	64.1	
	成果指標(2)		%	0.16	0.17	0.17	0.12	0.17	0	54.5	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,548	3,455	5,669	3,930	6,161	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.83	0.92	0.84	0.92	0.84			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	7,465	8,372	7,610	8,335			7,610
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	11,013	11,827	13,279	12,265	13,771			
	単位あたりコスト(-)÷		円	121,022	162,014	147,544	165,743	153,011			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	11,013	11,827	13,279	12,265	13,771				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		体育指導委員報酬等					29	名	2,784		
		体育指導委員の活動や、研修に係る旅費等					1	式	435		
		体育指導委員の宿泊研修に関するバス借上料					1	台	226		
		活動に必要な備品の購入					1	式	202		
		その他 (保険料、消耗品類、負担金等)							283		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	82.2	活動指標(2)の17年度達成率%	78.3	17年度予算執行率%	69.3
		体育指導委員が企画運営するウォーキング事業の参加者は増加傾向にある。また、体育指導委員が関わっていた地域での活動が独立し、運営を地域住民に委ねることができ、さらに、新たな地域での活動を開始するなど地域スポーツの発展に寄与している。ファミリー駅伝は、雨のため中止となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		特に無し。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和37年の体育指導委員制度発足当初は、スポーツ人口を増やすための実技指導者的な役割が期待されていたが、平成元年に国と都の答申が出され、地域スポーツコーディネーターとして位置づけられるようになった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	体育指導委員が企画実施している事業のうち、ウォーキング事業に関する問合せが多く、多くの区民が歩く機会を求めていることがわかる。秋の郊外歩こう会は毎年2～3倍の申し込みがあり、参加者には好評である。					
	今後の予測	高齢化社会を迎え、区民が心身とも健康に生活していける環境を作ることは、非常に重要な施策となっている。スポーツの需要は今後も高まっていくと考えられるが、一方では、なかなかスポーツの場に参加できない人たちも多い。こうした区民にスポーツを楽しんでもらうための方策を現在体育指導委員が研究し、事業を企画・実施しているので、今後事業の定着を図っていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区民が自主的主体的に地域スポーツができるようにするための施策を検討実施しており、地域スポーツ推進のための原動力となっている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 体育指導委員の実施する地域拠点活動を発展させ、参加者を増加させる。また、歩こう会や、綱引き大会などの参加者数も増加させていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: スポーツを始めるきっかけづくりのための事業であり、参加費の徴収は事業の推進にマイナスに作用する可能性がある。なお、歩こう会については、すでに参加実費を徴収している。ただし、すべての事業において任意のスポーツ保険料を徴収している。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現状で既に最低限の経費で運営している。					
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
協働等点検	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題: 体育指導委員の現在の形態を保ち、サポートとしてボランティアや区民スタッフの充実化を図る。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今期(23期:18・19年度)では、公園や学校を拠点とした地域スポーツづくりなど、区民の目に触れ、参加しやすい場で、多くの区民がスポーツに触れ合えるよう環境を整えていく。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 定数を変更してはいないが、全員公募制にした関係から体育指導委員の人数が19期当時と比べて大幅に減少した。このため、大規模な事業実施に際しては人手不足の観がある。質の高い事業の推進を図ると共に、今後熱意のある人材を確保していくことが急務である。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 体育指導委員を現状より増員させる。事業展開は現在の方向で事業を推進する。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		スポーツ栄誉章				整理番号	804		枝番号			
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	600704	連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	799		
係名					社会体育係			上位施策名		No		
予算事業名					社会体育振興		コード	83400		生涯学習環境の整備・充実	62	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		61年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) スポーツ振興法第3条					
	区民及び区内の団体に所属する選手について、スポーツ大会等で基準に定める成績を収めたもの。						(2) 杉並区スポーツ栄誉顕彰要綱					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 審査会にて被顕彰者を決定し、年1回栄誉章授与式を開催して表彰状及び副賞（個人受賞者はメダル、団体受賞者は楯）を授与する。						(3) 杉並区スポーツ栄誉顕彰基準					
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）								
審査会にて被顕彰者を決定し、年1回栄誉章授与式を開催して表彰状及び副賞（個人受賞者はメダル、団体受賞者は楯）を授与する。				スポーツ大会等で一定以上の成績を収めたものを顕彰し、選手及びスポーツ関係者の励みとする。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 被顕彰者数				(1) 被顕彰者数 ÷ 被推薦者数(代)								
(2)				(2)								
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	人	264	233	100	236	100	100	236.0			
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%	98	90	100	81	100	100	81.0			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	238	176	239	315	239	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)投資的経費等	千円										
	(内)委託費	千円										
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.21		0.23		0.21				0.23	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,889	2,093	1,903	2,084			1,903		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 + +	千円	2,127	2,269	2,142	2,399	2,142					
	単位あたりコスト(-) ÷	円	8,057	9,738	21,420	10,165	21,420					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	2,127	2,269	2,142	2,399	2,142					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)				
	被表彰者へのメダル等の購入					1	式	315				
	その他 ()							0				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	236.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	131.8
事業の性格上、予定数を達成することを目的としない。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
14年度から団体受賞者の副賞を、全員分のメダルから団体に一つの楯へ変更し、費用を削減した。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	制度が発足した当初はオリンピックなど国際的な大会等で活躍した人を顕彰していたが、制度が周知されるのに従って対象が広がり、区民にとって身近な顕彰制度になってきている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	顕彰されることは、本人及び関係者にとって大変励みになると喜ばれている。				
	今後の予測	スポーツ関係唯一の顕彰制度であり、今後も継続する				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 顕彰制度を設けることで、地域スポーツ推進に寄与している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 広報紙等PRになお一層努力して、広く区民の活躍を周知し、事業の効果を高めていく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 顕彰制度であるため、受益者負担を求める部分はない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: コストは副賞及び事務費のみであり、これ以上の削減は難しい。				
	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	理由または具体的内容: 協働等による成果と課題: 区及び教育委員会が直接表彰する性格の事業である。				
協働等点検	(2) 協働等の相手	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 広報紙等PRになお一層努力して、広く区民の活躍を周知し、事業の効果を高めていく。	
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 特になし。	
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 特になし。

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		調査・研究(地域スポーツ・社会体育に関する)			整理番号	805		枝番号		
担当部課名 社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	800	
係名 社会体育係		上位施策名					No			
予算事業名 社会体育振興		コード	83400		生涯学習環境の整備・充実			62		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		37 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 社会教育法第3条、第5条、第9条の6							
	社会体育振興に関する情報		(2)							
	社会体育振興に関する情報		(3)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
社会体育に関する図書や資料、情報を収集する。		社会教育に関する図書や資料、情報を収集し、社会体育振興に役立てる。社会教育主事研修に参加して社会体育に関する知識を高め、社会体育振興に役立てる。								
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 年間図書購入数		(1) 図書蔵書数(累計)								
(2)		(2)								
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標(1)	冊	19	14	20	14	20	20	70.0	
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	冊	226	240	260	240	300	300	80.0	
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	290	326	335	240	195	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等	千円								
	(内)委託費	千円								
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	90	91	181	181			181
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +	千円	380	417	516	421	376			
	単位あたりコスト(-)÷	円	20,000	29,786	25,800	30,071	18,800			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	380	417	516	421	376			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み	内 容		規模		単位	事業費(千円)				
	スポーツ総覧の差し替え		3		回	190				
	体育指導委員の機関紙「みんなのスポーツ」購入		12		冊	5				
	その他 (用紙類等の購入)					45				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	70.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	71.6
	地域スポーツ、ウォーキング等の情報を収集し、事業の企画等に生かしていく。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	適正な情報収集に努めるとともに、より良いスポーツ情報を取得する。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	従来は競技スポーツが主流だったが、国民の健康志向の高揚に伴い、誰でも楽しめるニューススポーツ(インディアカ、バウンドテニス等)が急速に増加するなど、スポーツ環境の変化が激しく、情報も拡大し続けている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	ウォーキングに関する情報やニューススポーツのルールなどについて問合せがある。				
	今後の予測	図書の購入、スポーツ情報の収集を継続する。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 適正な情報収集、情報管理をすることで、区民の意識を把握し、事業にプランニングに生かすとともに、情報発信に努めている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 情報をより生かすことでスポーツ事業発展に寄与できる				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区民参加のない事業であるため				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 必要最低限の図書を購入しているため				
	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄				
協働等点検	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題: 主にスポーツに関する図書等の購入なので、協働すべき性格の事業ではない。				
	(3) 協働等の形態					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 真に必要な情報を整理し、収集に努める。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 特になし。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	I 時代にふさわしい多様な情報手段を検討する。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		中学校対抗駅伝大会				整理番号	806		枝番号			
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	801	
係名				社会体育係				上位施策名		No		
予算事業名				社会体育振興		コード	83400		生涯学習環境の整備・充実		62	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				12年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) スポーツ振興法第5条、第7条							
	杉並区内の公立・私立中学校の生徒で構成するチーム。				(2) 杉並区教育委員会社会体育事業共催分担金支出等要綱							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				(3) 杉並区体育協会補助金要綱							
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）								
中学校体育連盟が例年実施していた「杉並区中学校駅伝競走大会」を引き継ぎ、12年度には21世紀プロジェクト事業、13年度から社会教育事業の一環と位置づけ実施している。名称を「杉並区中学校対抗駅伝大会」とし、さらにコースを善福寺公園から和田堀公園競技場周辺に変更して実施している。				タスキをつないで走る楽しさと、そこに生まれる連帯感を通じて、青少年の体力向上と健全育成を図るとともに、地域住民に走る楽しさ、運動することの楽しさを広げていく。連帯の輪を地域全体に広げ安心・安全のまちを築く。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 参加者数(補欠選手含む)				(1) 参加率(参加校数 ÷ 区内中学校数)								
(2)				(2)								
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	人	372	341	450	374	450	83.1				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%	78.7	75.7	100.0	70	100.0	69.7				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,021	16,835	2,284	2,091	2,284	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)投資的経費等	千円										
	(内)委託費	千円										
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.33	0.31	0.28	0.31	0.28					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,968	2,821	2,537	2,809		2,537			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0			
	総事業費 + +	千円	4,989	19,656	4,821	4,900	4,821					
	単位あたりコスト(-) ÷	円	13,411	57,642	10,713	13,102	10,713					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	4,989	19,656	4,821	4,900	4,821					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み	内 容				規模	単位	事業費(千円)					
	資機材賃借料				1	式	949					
	メダル・参加賞等				1	式	770					
	大会関係者謝礼				121	人	277					
	ゼッケン等洗濯代等				1	式	95					
	その他 ()						0					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	83.1	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	91.5
		杉並区内の公立・私立中学校33校中23校、男子30チーム、女子22チーム、計52チームの参加があった。				
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成16年度は、第5回目の記念大会として取り組んだ。 平成17年度は、通常どおりの開催となったため、平成16年度と比較すると支出削減となっている。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	中学校体育連盟が例年実施している「杉並区中学校駅伝競走大会」は、中学校総合体育大会の一競技であったが、12年度の21世紀プロジェクト事業の一つとして開催された。13年度からは社会教育事業として見直し、現在にいたっている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	「中学生の走る姿に感動した」、との声や「今後も続けてほしい」旨の意見が多数あった。				
	今後の予測	社会教育事業の一事業として見直した「中学校対抗駅伝大会」に、さらに広く区民に広げていくためファミリー駅伝を同時開催していたが、ファミリー駅伝の定着化に伴い、引き続き、別日程で開催することとなったため、更に事業の充実化が図られる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 広く区の事業として周知を徹底することにより、広く区民の注目を集め、スポーツへの関心を高めた。また、駅伝を通じて走ることの楽しさと連帯感を醸成した。また、区民同士が協力し合いふれあいと連帯が築かれ安心、安全のまちの推進に寄与した。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 中学校体育連盟、陸上競技協会等と既に相当程度協働しており、事業費の削減は困難である。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 事業の性質上、参加費の徴収等は適当でない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現状の予算が現在の大会規模を維持できる最低限の予算であるため。				
	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: 今後の具体的な取り組み: 地域活動団体等の協力体制を充実化し、連帯の輪を地域全体に広げる。					
(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区内の公・私立を含め、全中学校の参加を目標とする。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 特に無し
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 特に無し

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		歩こう会				整理番号	807		枝番号	
担当部課名	社会教育スポーツ課			コード	600704	連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	802
係名	社会体育係				上位施策名				No	
予算事業名	社会体育振興			コード	83400	生涯学習環境の整備・充実				62
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 45 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) スポーツ振興法第7条					
	区民				(2)					
					(3)					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 年2回、区民歩こう会を実施する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 日頃運動をしていない人、ウォーキングを始めたいが、機会が無い人について、自主的継続的にウォーキングを楽しめるようにしていく。						
活動指標名(式) (1) 歩こう会開催回数 (2) 参加者数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)参加者数 (2) 参加率 事業参加者数 ÷ 杉並区の人口						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
					計画	実績				
指標	活動指標(1)		回	2	2	2	2	2	100.0	
	活動指標(2)		人	384	286	470	488	500	97.6	
	成果指標(1)		人	384	286	470	488	500	97.6	
	成果指標(2)		%	0.08	0.05	0.09	0.09	0.10	90.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	931	1,052	1,259	1,032	1,321	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等		千円							
	(内)委託費		千円							
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.33	0.37	0.34	0.37	0.34		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,968	3,367	3,080	3,352		3,080
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +		千円	3,899	4,419	4,339	4,384	4,401		
	単位あたりコスト(-)÷		円	1,949,500	2,209,500	2,169,500	2,192,000	2,200,500		
	財源	受益者負担分		千円	582	424	1,016	630		1,016
		国・都等からの支出金		千円						
特定財源計 +		千円	582	424	1,016	630	1,016			
差引:一般財源 -		千円	3,317	3,995	3,323	3,754	3,385			
受益者負担比率 ÷		%	14.9	9.6	23.4	14.4	23.1			
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)		
		バス借上料等				5	台	617		
		関係者謝礼等				82	人	285		
		チラシポスターの作成等				1	式	115		
		参加者保険料等				1	式	13		
		その他 (旅費等)				1	式	2		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	103.8	17年度予算執行率%	82.0
秋の歩こう会は、16年度に比しバスの単価料金が押さえることができ、1台増やし、参加者も増加した。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
春の歩こう会については、事前の申し込み制を取りやめ、現地集合と現地解散とし、さらに参加しやすいように同じ場所を2日に分けて実施する。このことにより参加者が増加した。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和45年開始当時はバス旅行的な感覚もあったが、近年はウォーキングが手軽なスポーツとして認識されるようになってきており、ウォーキングブームも手伝って申し込み倍率も高くなってきている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	「また参加したい」という声が多く、特に郊外歩こう会は毎回抽選になるほど申込者が多い。また、問合せで「歳ですけれど、連れて行ってもらえますか」や、「早く歩けないんですけど、大丈夫でしょうか」といった声も聞かれ、足に自信のない人も区の主催ということで申し込んでいる。				
	今後の予測	民間の企画する歩こう会的なツアーやトレッキングが増えてきているが、足に自信のない人や高齢者には不安な点も多く、需要はますます拡大すると思われる。民間のウォーキンググループと連携して、体力にあった歩き方ができる企画や身近なところで楽しむ企画など、バリエーションに富んだ歩こう会を提供していく。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 歩こう会は運動すること、歩くことのひとつのきっかけづくりである。参加することによって仲間ができたり、いろいろな歩く情報に接することができる。こうしたことが継続的な活動につながり、健康増進に役立つ。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 歩こう会の情報発信に努めるとともに、歩いて楽しい場所や希望の多い場所の選定し参加者の増加を図る。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 既に交通費、保険料等の実費は参加者負担としている。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 効率化に努め、最小限の経費で実施している。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: 体育指導委員を中心として、区民ボランティアによる計画・立案・実施を任せている。今後は、更にボランティアを増やしより充実させていく。				
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 民間のウォーキング団体と連携して、バリエーションに富んだ歩こう会を提供していく。また、区民の意識や生活が多様化しているため、参加しやすい方法や魅力のある会について工夫をしていく。					
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 特に無し						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	現在、既に最低限の予算で事業を開催しているため。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		わいわいスポーツ教室(心身障害者スポーツ教室)			整理番号	808		枝番号			
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	803
係名				社会体育係				上位施策名		No	
予算事業名				社会体育振興		コード	83400		生涯学習環境の整備・充実		62
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		4 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) スポーツ振興法第7条					
	区内在勤・在住・在学の15歳以上の重度心身障害者					(2) わいわいスポーツ教室実行委員会規約					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			年6回、水泳、ボウリング、ダンスなどのスポーツやレクリエーションを実施する。送迎バスを手配し、重度心身障害者が参加しやすいように配慮している。		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 日頃スポーツに接する機会が少ない障害者に、スポーツの楽しさを体験してもらう。また、参加者同士、ボランティアとの交流を深める場とする。					
活動指標名(式)			(1) 事業の実施回数 (2) 参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 参加者実人員 (2) 参加率 参加者実人員 ÷ 身障手帳等所持者						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		回	6	6	6	6	6	6	100.0	
	活動指標(2)		人	241	254	240	227	240	240	94.6	
	成果指標(1)		人	91	92	90	95	90	90	105.6	
	成果指標(2)		%	0.73	0.74	0.73	0.72	0.73	0.73	98.6	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	702	630	750	702	759	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.81	0.89	0.82	0.89	0.82			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	7,285	8,099	7,429	8,063			7,429
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	7,987	8,729	8,179	8,765	8,188			
	単位あたりコスト(-)÷		円	1,331,167	1,454,833	1,363,167	1,460,833	1,364,667			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	7,987	8,729	8,179	8,765	8,188				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		ボランティア謝礼等				1	式	568			
		消耗品類				1	式	70			
		郵送料等				1	式	50			
		参加者保険料等				1	式	14			
		その他 ()						0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	94.6	17年度予算執行率%	93.6
		回数、参加者数とも計画どおり実施している。送迎バスは区障害者施設のバスを借りるなど、最小の経費で執行できるよう努めている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		重度障害者を対象とするスポーツ教室だが、重度だけではルールが理解できないことや簡単な動作も難しい場合が多く、スポーツ教室としては成り立ちにくいという問題がある。そこで、軽度の障害者にも参加してもらい、一緒に何かをしている楽しい感覚を共有できる状況を作るようにしていく。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	障害者の余暇活動を支援する事業として、スポーツの観点から始まった。(財)杉並区スポーツ振興財団でも障害者のスポーツ教室を継続的に実施しているが、バスの送迎がないため、重度障害者の参加はほとんどない。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	40名の定員以上に応募があり抽選を行なっているが、全員参加させて欲しいとの要望がある。種目としては、水泳、ボウリングに人気がある。					
	今後の予測	支援費制度が始まり、参加者が依頼したヘルパーと参加するケースが出てきている。今後増加することが予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 重度障害者を対象としているが、軽度障害者からの参加も多く、可能な限り受け入れている。障害者の余暇対策事業の側面だけでなく、家族の介護負担の軽減にも貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 重度障害者が対象であり、介助に専門的な知識や経験が必要である。ボランティアが介助を行なう形態のため、安全確保の面から定員を増加させることは難しい。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 事業費のほとんどが、ボランティアへの費用弁償と保険料だけである。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 事業費のほとんどが、ボランティアへの費用弁償と保険料だけである。					
	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
協働等点検	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題: 重度障害者は、継続的にかかわらないと対応することが難しく、単発の事業として実施するのは困難である。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 障害者の支援は、グループでの支援から個別支援に移行しつつある。支援費制度が始まりヘルパーとの契約での支援や、デイサービスの利用等も促進されることが予測され、区としての事業の必要性は中長期的には薄れてゆくと思われる。また、障害者施策部門と調整を図り、充実に向けて検討する。	
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 重度障害者を預かり余暇支援となる事業には需用があるため、区直轄事業に代わる事業につなげていく必要がある。	
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 前年度と同様に実施。

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育団体育成				整理番号	809		枝番号		
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	600704	連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	804	
係名					社会体育係		上位施策名		No		
予算事業名					体育団体育成		コード	84200		生涯学習環境の整備・充実	
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		1 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) スポーツ振興法第5条、第7条 (2) 杉並区教育委員会社会体育事業共催分担金支出等要綱 (3) 杉並区体育協会補助金要綱					
	区内のスポーツ団体、大会等										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			各種スポーツ団体が行う区民を対象としたスポーツ教室や大会等を共催、後援する。一部の共催事業には、定額分担金を支出する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 各種スポーツ団体の活動を共催・後援し、団体の活動を活性化するとともに、杉並区でのスポーツの普及を図る。					
活動指標名(式)			(1) 共催、後援事業件数 (2) 共催、後援事業参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代) 共催、後援事業参加者数 (2)						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		件	142	134	134	142	150	150	94.7	
	活動指標(2)		人	17,317	33,148	33,148	38,425	35,000	35,000	109.8	
	成果指標(1)		人	17,317	33,148	33,148	38,425	35,000	35,000	109.8	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,380	3,290	3,650	3,290	4,721	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.30	0.33	0.30	0.33	0.17			0.50
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,698	3,003	2,718	2,990			1,540
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			1,445
	総事業費 + +		千円	6,078	6,293	6,368	6,280	7,706			
	単位あたりコスト(-) ÷		円	42,803	46,963	47,522	44,225	51,373			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	6,078	6,293	6,368	6,280	7,706				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		団体等への補助金・負担金等					27	団体	3,290		
		その他 ()							0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	106.0	活動指標(2)の17年度達成率%	115.9	17年度予算執行率%	90.1
例年並の分担金交付件数である。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	共催分担金支出件数の抑制に努力しているが、団体の活動基盤に影響を及ぼすことも勘案しつつ、削減に引き続き取り組む。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	各種スポーツ団体の助成については、当初からほぼ同じ団体の事業に助成されており、予算の関係上新たな団体への支援が少ない状況にある。また、14年度から杉並区体育協会の事務局を社会体育係から(財)杉並区スポーツ振興財団に移管した。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	会場を確保するために共催もしくは後援が欲しいとの要望が多い。				
	今後の予測	民間スポーツ施設を使用できなくなる傾向があり、スポーツ事業の優先会場の確保について要望が高まっていくと予想される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: スポーツ団体の活動支援に効果はあるが、共催・後援とも、優先的に会場を確保できるので、スポーツ施設の区民貸切使用を抑圧していることも少なくない				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 会場の優先予約が成果につながっているため、それ以上のことは難しい。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 事業の性格上受益者負担はない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 共催・後援に伴う会場確保のため、スポーツ施設の区民貸切使用が抑圧されている。これ以上の会場の優先確保は好ましくない。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: 会場の確保、広報すぎなみへの掲載等。共催分担金を支出する場合は、資金の援助。				
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 分担金に関しては、件数を見直す努力を今後も続けるとともに、適正額を検討する。また、共催、後援だけでも大きなメリットがあり、受益者負担について見直す必要がある。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	今後分担金見直しについての検討が必要である。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育施設維持管理				整理番号	810		枝番号		
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	600704	連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	805	
係名		社会体育係			上位施策名				No		
予算事業名		体育施設維持管理		コード	84500	生涯学習環境の整備・充実				62	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 32年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 社会教育法第3条、第5条第4号及び第13号						
	施設 利用者 区民、体育団体等				(2) スポーツ振興法第12条						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 平成17年度までは体育施設の維持管理を、一部を除き財団法人杉並区スポーツ振興財団に管理運営を委託した。平成18年度から指定管理者を導入し、一部を財団法人杉並区スポーツ振興財団、上井草スポーツセンターを株式会社ティップネス・ワセダクラブ共同事業体に委託し、一部を直営とした。また、井草の森公園運動場の整備をNPO法人に委託している。				(3) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則						
活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
(1) 施設利用者数				施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。							
(2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
				(1) 基準利用人員【1,419,644人】							
				(2) (施設の規模と形態にあわせて、一般的な利用人員の数量を定め、平均的な開場期間等を加味して算出した							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		人	1,243,421	1,277,342	1,250,000	1,284,388	1,300,000	1,320,000	97.3	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	88	90	88	91	92	93	97.3	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	671,021	668,088	725,995	670,384	769,974	特記事項 <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 平成18年度は、指定管理者制度の導入により、財団への補助金を大幅に削減し、委託料へ組み替えた。そのため、18年度の予算は増加しているが、体育施設維持管理経費は、全体として3000万円ほど削減している。 なお、平成18年度より指定管理者制度の導入により、スポーツ振興財団だけに運営を任せていたが、民間事業者も参入し新たな施設運営を実施することになった。従って、従来の評価方法は適切ではないため、18年度計画は、区の予算のみを計上することとした。今後新たな評価方法を検討する。		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円	426,355	439,239	437,069	412,073	669,072			
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.87	2.67	2.44	2.67	2.70	0.50		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	25,813	24,297	22,106	24,190	24,462		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	1,445		
	総事業費 ++		千円	696,834	692,385	748,101	694,574	795,881			
	単位あたりコスト(-)÷		円	560	542	598	541	612			
	財源	受益者負担分		千円	202,493	211,134	212,206	204,155	65,511		
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	202,493	211,134	212,206	204,155	65,511				
差引:一般財源 -		千円	494,341	481,251	535,895	490,419	730,370				
受益者負担比率 ÷		%	29.1	30.5	28.4	29.4	8.2				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		財団法人杉並区スポーツ振興財団への管理運営委託、下高井戸運動場等への施設管理委託					1	式	412,073		
		財団法人杉並区スポーツ振興財団への事業費					1	式	151,266		
		杉並第十小学校温水プールの大規模修繕					1	式	33,863		
		杉並第十小学校温水プール、高円寺体育館の光熱水費					1	式	31,340		
		その他 ()					1	式	41,842		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	102.8	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	92.3
		前年度と比較すると利用者は増加傾向にあるが、体育施設は経年劣化もあり、費用は増加している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		従来、スポーツ振興財団が一部の施設を除いて管理運営をしていたが、平成18年度4月より指定管理者制度を導入したため、一部の施設を除いて、スポーツ振興財団と民間事業者が指定管理者として管理運営を行うこととなった。それにより体育施設全体の運営経費の枠組みを変更し、今までスポーツ振興財団へ補助金として支出していたものの一部を委託費として組み替えた。そのため、平成18年度は委託費が増加しているが、全体としては約1割ほど削減している。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区民のスポーツ活動は年々多様化してきており、区のスポーツ事業に対する期待は質、量ともに高まってきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	施設設備の充実や拡充、施設の利用方法、使用料のあり方などに関する要望が多い。					
	今後の予測	指定管理者制度の導入により、民間事業者も参入した。指定管理者は、より一層の事業の充実をはかり、それにより見込める参加費等により全体としての経費の削減が見込める。また、事業の拡大によりより多くの利用者が見込める。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: スポーツ振興のためには、施設の提供は必要不可欠である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 指定管理者制度を導入することにより、施設運営の効率化や、サービスの増大が図れる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 指定管理者制度を導入すれば、受託者の創意工夫により、さまざまな料金設定が可能となる。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容: 指定管理者制度を導入することにより、経常的な経費は削減できるが、施設の老朽化などにより、一時的な経費が必要となる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題 指定管理者制度の導入により、施設の管理運営を複数の事業者が指定管理者として施設運営をすることとなり、事業展開やコスト削減に向けた競争意識が働き、よりよい施設運営が期待できる。また、井草の森公園運動場の整備をNPO法人に委託している。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 指定管理者は指定期間を3年間に定め施設の管理運営を行う。その間に、各指定管理者の創意工夫により、施設利用者の増加を図り、利用料や教室参加費などの収入を増大させ委託経費の削減に努力する。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	指定管理者の指定期間の中で、それぞれの事業者の努力により効果が期待できる。					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		(財)杉並区スポーツ振興財団に対する運営等補助金			整理番号	811	枝番号		
担当部課名	社会教育スポーツ課	コード	600704	連絡先電話番号	1674	昨年度整理番号	806		
係名	社会体育係	上位施策名			No				
予算事業名	財団法人杉並区スポーツ振興財団	コード	84300	生涯学習環境の整備・充実			62		
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等 (1) 杉並区財団法人に対する助成に関する条例及び同施行規則 (2) 杉並区財団法人に対する補助金交付要綱 (3) 杉並区体育施設等に関する条例					
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	財団法人杉並区スポーツ振興財団に対して必要な経費を助成する。			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 財団法人杉並区スポーツ振興財団が、その設立目的であるスポーツ振興に関する事業を活発に行うことができるよう、財団運営の安定に資する。				
	活動指標名(式)	(1) 教室・事業数 (2)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 教室・イベント事業参加者数 (2)				
指標	区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%
					計画	実績			
	活動指標(1)	回	111	116	117	117	93	120	97.5
	活動指標(2)								
	成果指標(1)	人	54,432	53,646	56,000	56,549	47,000	50,000	113.1
成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	402,806	386,875	409,188	358,243	145,895	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成18年4月1日より指定管理者制度を導入し、一部施設が他の団体へ業務が移管され、一部が区の直営へと変更になった。各施設の人件費・教室事業費等は、指定管理者として委託費へと組み込んだため、平成18年度の計画では大幅な削減となった。	
	(内)投資的経費等	千円							
	(内)委託費	千円							
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.85	1.04	0.95	1.04	0.95		
	人件費	千円	7,645	9,464	8,607	9,422	8,607		
	常勤職員分(超勤分含む)	千円							
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	410,451	396,339	417,795	367,665	154,502		
	単位あたりコスト(-)÷	円	3,697,757	3,416,716	3,570,897	3,142,436	1,661,312		
	財源	千円							
受益者負担分	千円								
国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -	千円	410,451	396,339	417,795	367,665	154,502			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
17年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)			
	運営に関する補助金			1	式	358,243			
	その他 ()					0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	87.5
		平成16年度に続き、財団固有の職員を削減し、事業費が削減できた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成16年度に出された「杉並区補助金適正化方針」に基づき、補助金そのものを見直していく。また、平成18年4月1日から指定管理者制度の導入により、施設の運営管理とその施設で行う事業については、全て委託料とした。これに伴い定額補助制度を廃止し、指定管理者としてより自立を促す。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	指定管理者制度の導入により、補助金が大幅に削減され、財団としての経営努力が一層見込まれる。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	財団の実施するスポーツ教室等の事業に対する期待等があげられた。					
	今後の予測	指定管理者制度の導入により、補助金の大幅な見直しがされたが、自立していくために、社会状況の変化や、区民の生涯スポーツ活動に関するニーズの高まりを新たな事業展開を行い、サービスの向上と教室参加者の拡充を推進していく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区のスポーツ振興に大きく寄与している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: スポーツ教室の参加料の適正化					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: スポーツ教室の参加料の適正化					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [補助金方式への切り替え] (具体的内容)	理由または具体的内容: 指定管理者制度の導入することにより、補助金の一部を委託費へ移行することにより、大幅な削減が期待できる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題: 財団の自立運営を促進するため、運営補助金を支出。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成18年度に指定管理者制度を導入し、体育関係団体、民間事業者等の協働を強化し、より区民のスポーツ活動を活性化させるサービスを提供する。また指定管理者制度の導入により、各施設人件費、教室事業等に関する経費を補助金から委託費へ移行させ、補助金のあり方を見直した。但し、上井草スポーツセンターは他の事業者が指定管理者となったため、その分においては、事業の減となる。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 特に無し							
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増		<input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減		<input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	平成18年度に大幅な削減をしたため、特に無し。					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生涯学習活動の支援				整理番号	812		枝番号		
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600701	連絡先電話番号	1663		昨年度整理番号	807	
係名 管理係					上位施策名				No		
予算事業名 生涯学習の推進					コード	81000		生涯学習環境の整備・充実		62	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				8年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内に活動の拠点を置き、文化・スポーツ活動などの「生涯学習活動」を年間を通じて継続的・計画的に行っている団体の指導者(無報酬)				(1) 社会教育法第2条 (2) 杉並区生涯学習活動の指導者傷害保険取扱要綱 (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 生涯学習活動の団体から申請のあった指導者を被保険者として教育委員会が加入を承認し、保険会社と契約し保険料を支払う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 指導中に発生した事故を補償することで、指導者の安全を確保する。また知識・経験者を指導者として活かせる人材を確保すると同時に、安定した学習活動の場を提供する。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 加入指導者数				(1) 加入団体数							
(2) 加入団体会員数				(2) 補償件数							
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
				計画	実績						
指標	活動指標(1)	人	3,893	4,143	4,250	3,846	4,250	4,500	85.5		
	活動指標(2)	人	75,762	76,967	90,000	76,915	90,000	90,000	85.5		
	成果指標(1)	団体	81	80	100	88	100	100	88.0		
	成果指標(2)	件	9	6	5	5	5	6	83.3		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	570	580	582	579	582	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0				
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,799	1,820	1,812	1,812	1,812			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	2,369	2,400	2,394	2,391	2,394				
	単位あたりコスト(-)÷	円	609	579	563	622	563				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0			
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0			
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	2,369	2,400	2,394	2,391	2,394				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)			
	保険料					1	式	556			
	一般用品費					1	式	16			
	通信運搬費					1	式	7			
	その他 ()							0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	90.5	活動指標(2)の17年度達成率%	85.5	17年度予算執行率%	99.5
		広報による周知、活動団体・所轄部署からの周知等、必要最低限の費用で実施している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		区広報で加入の追加募集の周知を図った。課題であった「重複加入」については、検討が十分にできなかった。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	生涯学習活動は、区民の文化意識の向上により年々増加しており、昨年度まで加入団体の及び指導者の数も微増を続けていたが、昨年度は加入者が減少した。団体内の学習にとどまらず、地域活動に貢献している団体も増えている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	指導者傷害保険には保険料の負担をすることがなく、指導者の補償があるので便利である。					
	今後の予測	各種団体が増加傾向にあり、今後も加入者が微増すると予測される。独自に様々な保険に加入している団体も少なくない。特定個人のための限られた活動については自主的に加入してもらい。今後は生涯学習活動に限らず地域社会に貢献している区民活動に重点をおいた制度への移行も検討する必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 様々な団体の指導者が、安心して団体の活動を行うことができる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 当該保険への加入率を高める。					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 今まで行ってきた以外の、効果的なPRの方法・内容を検討する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区が実施することで安価な保険料となっている。負担を求めることは、学習活動の支援の趣旨から外れると考えられる。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 契約保険会社の料金指定により、コストを下げる余地はない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 特になし(他の事業等で協働を進めるために必要な制度である)					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 自主的な区民活動を支援するために生涯学習活動に限定しない他の自治体で導入している「(仮称)市民活動保険制度」のような新たな制度へ移行が必要である。	
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在各主管課で加入している傷害保険契約の実態の整理と制度の具体的内容の検討および活動に関わる関係機関への十分な周知が必要である。		
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 制度を見直した場合、保険料の大幅な増額が見込まれる。保険料は補償や該当となる活動内容により金額が大幅に異なる。現在加入している保険を継続した場合も一日の稼働人数50人を超える場合が想定されるため、増加分の保険料の増額が必要となる。	

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		土曜日学校			整理番号	813		枝番号				
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600707		連絡先電話番号	1678		昨年度整理番号	808	
係名					学校支援係			上位施策名		No		
予算事業名					学校の支援		コード	81100		生涯学習環境の整備・充実		62
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		14年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 土曜日学校実施要綱						
	小・中学生					(2)						
						(3)						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
各小・中学校ごとに地域の方々に実行委員会を立ち上げていただき、子どもたちや保護者、学校の求めに応じ、実行委員会が企画・運営する土曜日学校を実施する。土曜日学校担当は各実行委員会から提出される計画書、予算書を査定し、分担金を実行委員会へ交付する。					土曜日の学校を舞台に子どもたちが地域の中で広く、さまざまなことに挑戦、体験してほしい。学校5日制実施前は、おおむね月2回の土曜日に学校があったため、1カ月に2回の土曜日学校実施を成果目標とし、対象の活動の場を作る。							
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 実施学校数					(1) 一校あたり月2回の実施							
(2)					(2)							
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	校	35	36	43	37	46	51	72.5			
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	回	1.37	1.48	2	1.56	2	2	78.0			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	7,491	9,630	17,902	15,220	18,832	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0					
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0					
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	8,994	9,100	9,060	9,060			9,060		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 + +	千円	16,485	18,730	26,962	24,280	27,892					
	単位あたりコスト(-)÷	円	471,000	520,278	627,023	656,216	606,348					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0			0		
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0			0		
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	16,485	18,730	26,962	24,280	27,892					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)				
	土曜日学校の実施					37	校	15,220				
	その他 ()							0				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	86.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	85.0
一校あたりの実施回数が増加したため、執行率が上昇した。しかし、新規実施校は当初計画数を下回った。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
新規実施校を増やすため、引き続き関係者に理解を求める。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始から5年目となり、実施校では実施内容が充実してきている。その反面、新規実施校がだんだん少なくなっている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	土曜日学校実行委員会が、企画から実施まで一貫して行っており、地域から期待されている。しかし、実行委員会メンバーが変わると会計事務等が分からなくなり、苦労している面も見られる。そのためメンバー変更時には、積極的にアドバイスをを行っている。				
	今後の予測	小・中学校67校中、すでに37校が実施しており、今後の新規実施校は少なくなるものと思われる。また、従来は小学校での実施が大きなウエートを占めていたが、これからは中学校に移りつつあるように予想される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)		理由: 実行委員会と教育委員会の協働という形で実施されている。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()		理由または具体的内容:			
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		理由または具体的内容: 内容により参加者数が大きく異なるので、魅力ある事業を実施して参加者数を増やす。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)		理由または具体的内容: 初年度から自宅に持ち帰る教材や料理教室などでは、受益者負担を実践している。			
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)		理由または具体的内容: 各実行委員会ともボランティアで実費弁償程度の金額で実施しており、これ以上の削減は難しい。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)		協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)		協働等による成果と課題 各小・中学校実行委員会にて企画から実施までを行い、区は共催分負担金を支出している。			
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 教員の半日振替が認められる方向にあり、それとの調整が必要になってくる。					
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 調整の仕方と教員の勤務の割り振り方により、多くの小・中学校で土曜日学校が実施可能となる。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 土曜日学校予算は、実行委員会の立ち上げを待つという特殊な事情があるため、開設予定分の予算を持つ必要がある。					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ファミリー駅伝				整理番号	814		枝番号			
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	809	
係名				社会体育係				上位施策名		No		
予算事業名				社会体育振興		コード	83400		生涯学習環境の整備・充実		62	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				14 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) スポーツ振興法第7条							
	区民による駅伝大会				(2)							
					(3)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
区内の公園などをコースに設定し、家族や仲間などでチームを結成し駅伝協議を開催する。応募は、広報やチラシ、ポスターなどで行う。				タスキをつないで走る楽しさと、そこに生まれる連帯感を通じて、地域住民に走ること、運動することの楽しさを広げていく。連帯の輪を地域全体に広げ安心・安全のまちを築く。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 参加者数(補欠選手含む)				(1) 参加率(参加者数 ÷ 杉並区の人口)								
(2)				(2)								
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	人		156	180	0	200	200	0.0			
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%		0.03	0.03	0	0.4	0.4	0.0			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円		163	191	115	191	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人		0.06	0.06	0.06	0.06				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	546	544	544		544		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0		
	総事業費 + +		千円	0	709	735	659	735				
	単位あたりコスト(-) ÷		円		4,545	4,083		3,675				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	0	709	735	659	735					
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)				
		大会開催に必要な消耗品等				1	式	115				
		その他		()				0				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	0.0	活動指標(2)の17年度達成率%	17年度予算執行率%	60.2
		40組の申込みがあったが、大会当日雨天のため中止した。				
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		大会のPRを実施し、昨年度並の申込みがあった。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	「老若男女、障害のある方も楽しめる」、「家族だけでなく、地域や職場の仲間でも参加できる」「競技ではなく、祭りとして楽しむ要素を大切にする」等をキーワードに、平成14年度から事業を始めた。開始当初に比べ、区民への周知が進み、参加者も年々増加しており、区民のイベントとして定着しつつある。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	事業に対しては、速度を競う方式ではなく、自己申告のタイムにより近いチームが優勝する「宣言タイム制」を導入したため、当初の目標であった「老若男女、障害のある方」からも非常に好評である。要望としては、「更にコースを長く」「チーム数を増やして欲しい」など、この事業に対して期待が感じられる意見が多くみられる。また、雨天の場合予備日を設けて実施して欲しいとの要望があった。				
	今後の予測	速度や体力を競う方式ではなく、子どもや老人がいても、それぞれの体力に応じて競うことができるスポーツ事業は少ないため、様々な年代の方から支持を受けている。既に3回の開催実績があり、毎年参加者が増えていることから、このような事業に対する需用は大きいとみられ、今後益々の発展が期待される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区の事業として周知を徹底することにより、区民の注目を集め、スポーツへの関心を高めた。また、駅伝を通じて走ることの楽しさと連帯感を醸成した。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: ファミリー駅伝の周知に努め、参加者の増加を図る。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 参加費の徴収も考えられる。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 必要最低限の経費で実施している。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 事業の実施運営にあたって、地域活動団体に協力をしてもらっている。				
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ファミリー駅伝の知名度を上げ、参加者の増加を図る。雨天の場合を想定して、予備日を設ける。	
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 特に無し	
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 前年どおり実施。

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		和田堀公園プールの改修				整理番号	815		枝番号	1	
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	810
係名				社会体育係				上位施策名		No	
予算事業名				和田堀公園プール改修		コード	84910		生涯学習環境の整備・充実		62
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		16 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1)				
	区民						(2)				
	区民						(3)				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				和田堀公園プールの改修 老朽化した和田堀公園プールの管理棟、プール他の大規模改修を行い、より快適な施設整備を行うことにより利用者の増加を図る。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 工事件数				(1) 工事の進捗状況							
(2)				(2)							
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
				計画	実績						
指標	活動指標(1)	件		1	1	1					
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%		100	100	100					
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円		49,506	60,430	59,881		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成16年度から費用の一部を繰越 12,124,450円			
	(内)投資的経費等	千円									
	(内)委託費	千円		49,360	60,430						
	職員数(常勤 非常勤)	人		0.49	0.45	0.25					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	4,459	4,077	2,265		0		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0		
	総事業費 + +	千円	0	53,965	64,507	62,146	0				
	単位あたりコスト(-)÷	円		53,965,000	64,507,000	62,146,000					
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	0	53,965	64,507	62,146	0				
受益者負担比率 ÷	%		0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み	内 容				規模	単位	事業費(千円)				
	改修工事委託				1	式	59,881				
	その他	()						0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	99.1
平成17年6月20日完了						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	特に無し					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	特に無し				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特に無し				
	今後の予測	特に無し				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)		理由: 区民の健康増進や、スポーツ振興に役立っている			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)		理由または具体的内容:			
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)		理由または具体的内容: リニューアルオープンをすることにより、利用者の増加が期待される。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)		理由または具体的内容: 改修工事のため			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)		理由または具体的内容: 工事請負を入札により決定したため。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)		協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	企業・個人事業者(^)		協働等による成果と課題 業者委託により成果があったが、事業完了のため、今後については未定である。			
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減		コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減			
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 特に無し					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 特に無し					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 事業完了					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		下高井戸運動場改修				整理番号	815		枝番号	2	
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	
係名				社会体育係				上位施策名		No	
予算事業名				下高井戸運動場改修		コード	84920		生涯学習環境の整備・充実		62
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		17 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1)				
	区民						(2)				
	区民						(3)				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				下高井戸運動場人工芝の張替 事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 老朽化した下高井戸運動場の人工芝の張替を行い、より快適な施設整備を行うことにより利用者の増加を図る。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 工事件数				(1) 工事の進捗状況							
(2)				(2)							
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
				計画	実績						
指標	活動指標(1)	件			1	1					
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%			100	100					
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円			130,000	113,085		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等	千円									
	(内)委託費	千円									
	職員数(常勤 非常勤)	人				0.24					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	2,174		0		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0		
	総事業費 + +	千円	0	0	130,000	115,259	0				
	単位あたりコスト(-)÷	円			130,000,000	115,259,000					
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	0	0	130,000	115,259	0				
受益者負担比率 ÷	%			0.0	0.0						
17年度の主な取組み	内 容				規模	単位	事業費(千円)				
	改修工事委託				1	式	113,085				
	その他 ()						0				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	87.0
	平成17年12月14日着工 平成18年3月22日竣工					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	特に無し					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	軟式野球、サッカー関係者も加わり、プロポーザル方式により人工芝の選定と事業者を決定した。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	従来に比べ、使いやすくなったとの意見。(利用者からのアンケート調査実施)				
	今後の予測	特に無し				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区民の健康増進や、スポーツ振興に役立っている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: リニューアルオープンをすることにより、利用者の増加が期待される。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 改修工事のため。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: プロポーザル方式により工事業者を決定した。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 業者委託により成果はあったが、事業完了のため、今後については未定である。				
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 特に無し	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 特に無し	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	事業完了

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		すぎなみコミュニティカレッジ				整理番号	816		枝番号			
担当部課名		教育委員会事務局 社会教育スポーツ課		コード	600716	連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	811		
係名 社会教育センター					上位施策名				No			
予算事業名 成人教育					コード	81800		生涯学習環境の整備・充実		62		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 14 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 社会教育法第5条							
	区内在住・在勤・在学者				(2) 杉並区立社会教育センター及び社会教育会館条例							
	区内在住・在勤・在学者				(3) すぎなみコミュニティカレッジ実施要綱							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
地域でのさまざまな活動に対して区民の方が抱いている参加・貢献意欲を、実際の活動につなげていくための学習機会として、行政ニーズ・区民ニーズを踏まえ年間10コース程度の講座を開催してきた。講座の企画・運営・評価については区民の参画と協働によって行った。					課題等に対する学習により、知識・技能を身につけ、社会参加・社会貢献意欲を実際の活動につなげる。							
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 開催コース数					(1) 講座開催率(開催講座数 ÷ 13講座(予算) × 100%)							
(2) 参加者数					(2) 活動意向保持者学習ニーズ対応率(参加者数 ÷ 応募者数)							
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度計画		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度 の達成率%	
指標	活動指標(1)		コース	15	17	13	17	10	10	170.0		
	活動指標(2)		人	366	511	220	426	220	220	193.6		
	成果指標(1)		%	100	100	100	189	100	100	188.9		
	成果指標(2)		%	96	82	100	96	100	100	96.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,815	4,752	6,864	5,593	5,892	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) コミュニティカレッジは18年度すぎなみ地域大学に統合となったが、17年度から試行した「すぎなみ大人塾」は、教育ビジョン推進計画により、地域の教育力向上施策として18年度から本格実施となった。また、カレッジとして行ってきたフォロ-型の講座や区民参画型の講座は、地域大学に移行できなかったため、社会教育セミナーを新設し対応している。18年度計画及び目標値については、「すぎなみ大人塾」社会教育セミナーについて、カレッジの指標に合わせ仮置きとしている。			
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円	4,178	3,702	3,600	3,434	1,850				
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.60 0.00	1.26 0.67	1.16 0.66	1.71 1.00	1.00 0.30				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	14,390	11,466	10,510	15,493				9,060
		非常勤職員分		千円	0	1,930	1,907	2,890				867
	総事業費 ++		千円	20,205	18,148	19,281	23,976	15,819				
	単位あたりコスト(-) ÷		円	1,347,000	1,067,529	1,483,154	1,410,353	1,581,900				
	財源	受益者負担分		千円	264	0	60	140				61
		国・都等からの支出金		千円	2,450	0						
特定財源計 +		千円	2,714	0	60	140	61					
差引: 一般財源 -		千円	17,491	18,148	19,221	23,836	15,758					
受益者負担比率 ÷		%	1.3	0.0	0.3	0.6	0.4					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		すぎなみコミュニティカレッジ					15	コース	3,974			
		すぎなみ大人塾開講					2	講座	1,439			
		生涯学習情報提供委託料							180			
		その他 ()							0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	130.8	活動指標(2)の17年度達成率%	193.6	17年度予算執行率%	81.5
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		区民参画の組織「社会教育事業推進委員会(愛称:車座委員会)」と意見交換しながら、各課から人材育成ニーズを調査するとともに、講座の企画提案を広く区内外の団体に求めた結果、適切な講座テーマ設定、着実な事業展開となった。また、新規立ち上げの「すぎなみ大人塾」は、参加者の自由な発想を生かしていけるよう、ワークショップ形式中心の学習の場として試行実施した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	14年度から「教育改革アクションプラン」事業として実施。区民の方々の協力が課題となっており、NPO、主管課と連携をとって開催していった。すぎなみコミュニティカレッジは地域大学に統合されたが、今後もますます区民一人ひとりの主体性を尊重した学習機会の提供が求められている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	講座が実践につながっているが、更なる実践の場の提供や、活動をはじめたことで抱える課題に対するフォローアップ講座が求められている。また、個別活動に取組むだけでなく、区民と区民のつなぎでとなって活躍する人材など、総合的な力量を高めていく主体的な学習の場が求められている。					
	今後の予測	「地域人材育成・協働システムの構築」により、人材育成に関して全庁的な取り組みとなっていくことが考えられる。また、団塊の世代や子育てにより仕事を辞めることを余儀なくされた30代前後の女性、若者など、地域への入り口として、対象を絞った講座開催が必要となる。若者へのPRの工夫などが求められてくる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区民がさまざまな形で経営に参加する自治体運営は、地方分権の時代に大事な柱であり、そのためにも、現代的課題等を学び、区民が自ら力量を高めていく学習の機会が必要である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 個別課題に関わる人材育成は「すぎなみ地域大学」に一本化し、「すぎなみ大人塾」は、教育の地域内分権を目指し、相互学習で区民自らが課題を掘り下げていく学習方式を採用している。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 「すぎなみ大人塾」は、その成果により今後検討していくが、現段階では、気軽に参加できる場としておくことが事業目的からして必要である。よって、受益者負担を求めべきでない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 今年度から「すぎなみ地域大学」に統合された。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: すぎなみコミュニティカレッジは、行政ニーズと区民の学習ニーズのすりあわせを、区民参画の社会教育事業推進委員会で行っている。また、実際の講座の企画や運営については、NPO等への委託を中心に行ってきた。「すぎなみ大人塾」では普段は地域にいない勤労者や若者をターゲットに行ったため、斬新な切り口を持つ民間人を学習支援者、アドバイザーとして登用した。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 自らの地域のことはまず自らが考えるという真の自治の風土を築くため、総合的な地域づくりに向けた学習の場としての「すぎなみ大人塾」を基本に、「地域の大人塾」を立ち上げていく。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 人材育成講座に関わる職員の連携・意識向上・調整力向上が必要。民間人のアドバイザーや学習支援者に知恵を借りるなどしていく。						
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし						
	(2) 理由 社会教育講座としての特徴(総合性・自発性・自律性)を發揮した「すぎなみ大人塾」を基本に、「地域の大人塾」を軌道に乗せていく。その成果を地区教育委員会運営に生かしていく。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	区民企画講座	整理番号	817	枝番号	
担当部課名	教育委員会社会教育スポーツ課	コード	600716	連絡先電話番号	4712
				昨年度整理番号	812
係名	社会教育センター	上位施策名	No		
予算事業名	成人教育	コード	81800	生涯学習環境の整備・充実	62

事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	1年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業	
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	(1) 教育基本法第7条第1項 (2) 社会教育法第3条、第5条第1項第1号第6号第13号第14号 (3) 杉並区社会教育センター及び社会教育会館条例		
	区内在住、在勤在学で18歳以上の者	事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）		
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 「若者」「おやし」「井草」等、対象やテーマ、地域を絞り公募した企画運営委員が、区民を対象とした講座を企画運営する。	区民自らが、多様化する学習ニーズに対応した講座を企画し提供する。また、講座を企画・運営する過程、及び講座の開催により、地域での仲間作りや活動を推進し、より広範な区民層の地域参加意欲向上を促進する。		
活動指標名(式)	成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			
(1) 企画会議・講座の延べ参加者数	(1) 講座応募者 ÷ 講座定員			
(2) 企画会議・講座の開催回数	(2) 主要活動企画運営委員数 ÷ 企画運営委員定数(18名)			

区分	単位	15年度実績		16年度実績		17年度				18年度計画		目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	人	605	725	1,000	432	1,000	1,000	1,000	43.2			
	活動指標(2)	回	72	71	75	70	75	75	75	93.3			
	成果指標(1)	%	108	184	100	43	100	100	100	43.0			
	成果指標(2)	%	83	133	100	93	100	100	100	93.0			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	732	650	1,089	518	1,089	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内)投資的経費等	千円											
	(内)委託費	千円											
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.85	1.10	0.90	1.01	0.54	1.01	0.53	0.90	0.40	0.90	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,645	8,190	4,892	4,802	3,624					
		非常勤職員分	千円	3,035	2,909	2,919	2,601	2,601					
	総事業費 + +	千円	11,412	11,749	8,900	7,921	7,314						
	単位あたりコスト(-) ÷	円	18,863	16,206	8,900	18,336	7,314						
	財源	受益者負担分	千円										
		国・都等からの支出金	千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	11,412	11,749	8,900	7,921	7,314						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

17年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	謝礼(講師謝礼、企画運営委員報償費)				388
	運営事務費(通信費、記録集作成、消耗品)				130
	その他	()			0

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	43.2	活動指標(2)の17年度達成率%	93.3	17年度予算執行率%	47.6
		少人数定員の講座を多く開催したこととあわせ、企画運営委員のネットワークを活用したため、講師謝礼額を抑えることができた。また、「若者」の講座では、継続して参加する企画運営委員が少なかったため、実績に応じて支払っている企画運営委員報償費が一部未執行となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		企画運営委員の募集を広報・チラシ・ホームページ等で行い、企画会議への参加を広く呼びかけた。また、講座開催時に、参加者に企画運営委員としての活動を呼びかけた。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	様々な学習機会が提供されるようになった中で対象者や各地域の特性を生かしながら、区民による学習内容の企画、運営は、自由な発想と参加しやすい形態で、受講者に満足度の高い講座等を提供している。14年度は1講座休止したが、15年度には再開し3講座とした。18年度は、井草社会教育会館の廃止に伴い「井草」地域で会議を開催していた講座を休止とした。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区民の視点が活かされた気軽に参加できる講座は、区民同士の交流が生まれ、地域への愛着を育んでいるという点で有意義であるという意見が多い。また、企画運営委員をされた方からは、区の施策や区内のさまざまな活動を知ることができたことでの満足感が高い。					
	今後の予測	17年度末で井草社会教育会館が廃止となり、社会教育会館全館が廃止となった。会議の拠点がなくなったことや、各人の生活スタイルの変化により、企画運営委員になって講座の企画運営をしようという区民の参加が少なくなっている。気軽に参加できる学習の機会は今後も必要だが、新たな拠点の位置づけや開催テーマの明確化等、新たな展開が求められる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 参加型の講座を多く取り入れ、企画運営委員が講師やサポートを行い、受講者と密接に話し合い創り上げることにより、地域やコミュニティに参加の動機付けをすることができる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 企画テーマの絞込みや企画運営委員向けのオリエンテーション実施、他の講座と連動させ参加者のステップアッププログラムとする等で、委員の意欲を高め、地域活動への広がりを促す。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 企画講座は参加費として実費を徴収している。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 主な経費が企画講座の講師への謝礼及び企画運営委員への報償費(実費弁償)である。事業の目的を達成するためには企画会議及び講座の実施回数を維持することが必要であり、軽減は難しい。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: 一般区民向けの講座開催を目的としながら、その過程での企画運営委員と職員の対話を重視している。そうした会議の積み重ねのなかで杉並への理解を深め、地域やコミュニティへの参加の動機付けとなっている。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 行政サービスと関わりが薄かったり、サービスの受け手であった区民が、企画運営委員となって社会教育活動に主体的に参加できる機会とする。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 にほんご教室と連動し「区内外国人」を対象とする、学校区等すでにまとまりのあるコミュニティと連動する等、対象・テーマ・地域の絞り方を工夫する。 魅力的な講座開催をきっかけに企画運営委員を公募するなど、関心を掘り起し参加者層の裾野を広げる。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	区民の視点が活かされた気軽に参加できる講座としての特徴が、新たな地域活動参加層の広がりにつながるよう、適切な「対象」「テーマ」「地域」の設定を行っていく。また講座開催の成果が、「地区教育委員会」や「地域の大人塾」等、関連する施策とつながっていくことも想定する。					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		大学公開講座				整理番号	818		枝番号								
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600716		連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	813						
係名					社会教育センター					上位施策名		No					
予算事業名					成人教育					コード		81800		生涯学習環境の整備・充実		62	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60		年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等										
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区教育委員会後援等名義使用承認事務取扱要綱										
	原則として、区内在住・在学・在勤者						(2) 大学公開講座実施要綱										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				区内の大学と共催して公開講座を開催する。区は広報等で情報の提供及び分担金の支出を行う。		(3)										
活動指標名(式)				(1) 講座延べ回数		(2) 実施大学数		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 大学の持つ教育力を地域に開放して、区民の学習要求に応える。									
成果指標名(式)				(1) 講座延べ回数		(2) 実施大学数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 受講者 ÷ 応募者 (2)									
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度計画		17年度実績		18年度計画		目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		回	82	77		90	70		95		100	70.0				
	活動指標(2)		校	6	6		6	6		6		6	100.0				
	成果指標(1)		%	90	92		100	96		100		100	96.0				
	成果指標(2)																
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,470		2,280		2,850		2,266		2,950		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等		千円														
	(内)委託費		千円														
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.31	0.10	0.36	0.00	0.22	0.00	0.43	0.00	0.40	0.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,788		3,276		1,993		3,896		3,624				
		非常勤職員分		千円	276		0		0		0		0				
	総事業費 + +		千円	5,534		5,556		4,843		6,162		6,574					
	単位あたりコスト(-)÷		円	67,488		72,156		53,811		88,029		69,200					
	財源	受益者負担分		千円													
		国・都等からの支出金		千円													
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0						
差引:一般財源 -		千円	5,534		5,556		4,843		6,162		6,574						
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0						
17年度の主な取組み			内 容						規模		単位	事業費(千円)					
			大学公開講座分担金						70		講座	2,180					
			連携事業費(謝礼)						5		人	86					
			その他 ()									0					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	77.8	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	79.5
		ほぼ計画どおりに実施。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		講座数は、若干減少したが、「杉並区と区内高等教育機関との連携協働に関する包括協定」による、「リレー講座」を各大学の協力により実施した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	公開講座実施当初(昭和60年)4校であったが、現在は区内大学全て(6校)で行っている。明治以降の作家シリーズ、最新の時事、事件をテーマにしたもの、体を動かす体育系の講座等各校が特色を出している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	各大学がそれぞれ特徴のある講座を企画し好評を得た。参加し易い土日の開催等の要望にも講師の理解を得、少しずつ増えている。					
	今後の予測	平成16年に締結した「杉並区と区内高等教育機関との連携協働に関する包括協定」に基づいて、各大学単独講座と平行して事業展開している。幅広く参加できるよう、講座のテーマ、回数を増やす予定の大学が数校ある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:各大学で多様な講座を開設し、区民の学習意欲の満足が得られている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:講座数増等は、予算の裏付けが必要。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:現状、一定の実費負担をしているが、負担増は、受講者減も予想される。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:区側がある程度経費負担をしているが、各大学にこれ以上の負担は、協力を得にくい。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題:大学連携協議会との関係を考慮しながら、現状維持。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 杉並区民のニーズ、行政の需要に応えるよう、効果的な事業を展開する必要がある。
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区の内部組織及び各方面の情報収集を行い、区外大学・企業等との連携も視野に入れ、機会をつくり働きかけを行う。
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 区民ニーズ、時代のニーズに合った講座の構築 区内大学だけでなく、区外大学・企業等との連携を視野に入れ、より良い協働の仕組みを構築する。

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		済美日曜教室				整理番号	822		枝番号		
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600716	連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	817	
係名 社会教育センター					上位施策名				No		
予算事業名		済美日曜教室		コード	82300	生涯学習環境の整備・充実				62	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		44 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 社会教育法第5条						
	区内在住の心身障害学級・養護学校卒業者及び愛の手帳所持者で、教室開催場所に一人で来ることができる者。		(2) 済美日曜教室実施要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		(3)								
	有償ボランティアの企画・運営により、学習・スポーツ・レクリエーション等の教室を年16回開催する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 参加者数		(1) 平均参加者数 / 参加者登録数									
(2) 開催回数		(2) ボランティアスタッフ延べ参加人数 / 参加者延べ人数									
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度	目標値	目標値に対する17年度
							計画		計画	22年度	の達成率%
指標	活動指標(1)		人	1,126	1,122	1,060	912	1,060	1,060	86.0	
	活動指標(2)		回	19	19	16	16	16	16	100.0	
	成果指標(1)		%	54.87	53.68	60	57	60	60	95.0	
	成果指標(2)		人	0.42	0.38	0.50	0.42	0.50	0.50	84.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,887	4,600	5,694	4,414	5,951	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.85 0.00	0.72 0.00	1.08 0.50	1.17 0.30	1.00 0.40			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	7,645	6,552	9,785	10,600	9,060		
		非常勤職員分		千円	0	0	1,445	867	1,156		
	総事業費 + +		千円	12,532	11,152	16,924	15,881	16,167			
	単位あたりコスト(-)÷		円	11,130	9,939	15,966	17,413	15,252			
	財源	受益者負担分		千円	103	104	80	95	80		
		国・都等からの支出金		千円	2,000	0	0	0	0		
		特定財源計 +		千円	2,103	104	80	95	80		
差引:一般財源 -		千円	10,429	11,048	16,844	15,786	16,087				
受益者負担比率 ÷		%	0.8	0.9	0.5	0.6	0.5				
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		体験学習				2	回	1,612			
		教養講座				12	回	1,207			
		レクリエーション講座				2	回	800			
		運営管理(講師・ボランティア研修、運営事務費)						795			
		その他 ()						0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	86.0	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	77.5
日曜に実施する事業のためか、協力するボランティアが減少している。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	ボランティアスタッフをある程度確保している団体等と協働し事業を実施していくよう、引き続き調査研究を行っている。 また、現在、関係部署との連絡調整、及びそれに伴う講座形態の見直しは、継続して行っている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区内愛の手帳所持者数の推移 総数(1・2年度者数+3・4年度者数) S44=129人(不明)、S54=185人(82+103)、H2=1,229人(376+853)、H10=1,413人(475+938)、H15=1,597人(543+1054)、H17=1,648(551+1,097)、H18=1,720(569+1,151)				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	引き続き、障害を有する人に対する生涯学習の機会の提供として寄せられる期待は大きい。				
	今後の予測	区内在住の愛の手帳所持者は増加傾向にあることから、本事業への参加者の増加、年齢層の多様化、高齢化、障害の重度化が進んできている。 しかし、それに対応するボランティアの不足が予想される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 知的障害を持つ人達の学習の機会は、健常者に比べてまだまだ少なく、本事業の存在意義は大きい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的: 理由または具体的内容: 現在の事業状況は、障害の程度が軽度、重度の参加者が一緒に活動している。障害の程度別にクラスを分けて、実施するなど、参加者にとって有効な活動としていく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 年間の登録料1,000円、体験学習等の実費等を参加者が負担している。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 本事業費の大半が、講師・ボランティアに対する謝礼金である。事業を行う上で必要最低限の講師・ボランティア数を基準にしているため、コスト削減の余地は無い。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: 専門的な知識等を持った講師・ボランティアと協働することにより、質の高いサービスを提供できるようになった。				
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)					
今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区内愛の手帳所持者数の推移からも分かるように、本事業への区民需要はますます増加するものと思われる。しかし、事業を安定的に実施するにはボランティアの確保が重要である。また、本事業の参加者の高齢化、障害の程度の重度化が年々顕著になりつつある。専門ボランティアをある程度確保している団体との連携、障害の程度別等にクラスを分けて、それぞれ違ったサービスを提供していくなど講座を見直していく必要がある。また、参加者の高齢化、障害の程度の重度化により対応するために関係部署等と連絡調整を図り事業内容等の見直しを図る必要もある。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	ボランティア団体との連携協働の仕組みの研究を行う。 前年度に引続き、講座形態の見直し等に関し研究を重ねる。 関係部署との連絡調整を引き続き行っていく。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		施設維持管理・運営管理				整理番号	823		枝番号						
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600716	連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	818					
係名					社会教育センター		上位施策名		No						
予算事業名					社会教育センター維持管理		コード	82500		生涯学習環境の整備・充実	62				
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		1年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 教育基本法 (2) 社会教育法第2.3.5.7.条 (3) 杉並区立社会教育センター及び社会教育会館条例及び同条例施行規則								
	施設を利用する個人及び団体														
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				社会教育センターの維持管理・運営に関すること。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民の学習の機会と場の提供をするという見地から、より安全、快適な利用ができるようにする。								
活動指標名(式)				(1) 施設利用回数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 施設利用回数 ÷ 施設利用可能回数 (2)									
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度計画		目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
							計画		実績						
指標	活動指標(1)		回	5,429		6,215		8,643		5,656		8,639	8,639	65.5	
	活動指標(2)		件												
	成果指標(1)		%	63		72		100		66		100	100	66.0	
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	83,901		85,208		89,714		72,931		88,541		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等		千円												
	(内)委託費		千円	65,431		67,021		65,625		50,193		65,450			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.75	0.00	0.99	0.00	0.84	0.00	1.17	0.00	1.70	0.10		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	6,746		9,009		7,610		10,600		15,402		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		289		
	総事業費 + +		千円	90,647		94,217		97,324		83,531		104,232			
	単位あたりコスト(-)÷		円	16,697		15,160		11,260		14,769		12,065			
	財源	受益者負担分		千円	21,212		22,178		22,125		26,984		22,720		
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	21,212		22,178		22,125		26,984		22,720				
差引: 一般財源 -		千円	69,435		72,039		75,199		56,547		81,512				
受益者負担比率 ÷		%	23.4		23.5		22.7		32.3		21.8				
17年度の主な取組み			内 容				規模		単位	事業費(千円)					
			センター保守管理委託							50,193					
			センター光熱水費							12,006					
			センター運営費(図書費、通信費、負担金、備品購入、賃借料)							7,349					
			センター維持管理費							3,383					
その他 ()							0								

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	65.4	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	81.3
概ね予算どおり執行された。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	前年度は主なものとして、ホールの椅子の一部の張替え、喫煙室の設置等を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	開設後18年が経過し、建物のみならず、付帯設備・備品類等に修理・修繕・買い替えが必要となっている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	AV機器等旧式の機種も多く、最新の機種導入の要望がある。				
	今後の予測	舞台照明改修・楽屋ファンコイル改修・展示室壁塗り替え・ホール椅子の一部の張替えを予定。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)		理由: 区民及び団体の活動の拠点としての貢献度は大きい。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策		理由または具体的内容: 経年劣化による修繕すべき箇所が多い。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)		理由または具体的内容: 公共性を考えると、使用料を値上げすることは理解を得難い。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)		理由または具体的内容: 経年劣化に伴い、今後修繕費の増大が予想される。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)		協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)		協働等による成果と課題 セシオン杉並(社会教育センター併設高円寺地域区民センター)の受付、清掃、有人警備、舞台管理、各種メンテナンスに関しては、業者に委託している。			
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 施設の改修、付帯設備・備品類の修繕・修理・買い替えを計画的に実施する。					
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 財政面での制約があるので、設備改修経費を年次計画として予算化することが課題である。					
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
(2) 理由 緊急度の高い設備から改修する。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		社会教育事業推進組織運営				整理番号	824		枝番号						
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	600716		連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	819				
係名				社会教育センター				上位施策名		No					
予算事業名				社会教育センター運営管理		コード	81700		生涯学習環境の整備・充実		62				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				13 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等										
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 社会教育法第3条										
	社会教育事業推進委員ほか				(2) 杉並区自治基本条例										
	社会教育事業推進委員ほか				(3) 杉並区社会教育事業推進委員会設置要綱										
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)											
学習や文化活動等に関わる個人を委嘱し、概ね月一回定例で連絡・協議を行うとともに、区民の参画と協働により、行政や個人・民間のみでは実現しにくい多様な事業展開を行う。また委嘱した12名の委員に限らない、多くの区民の参画・交流・学習・の機会として車座トークを開催し、連絡・協議内容の多様性・公共性を確保している。				講座実施・社会教育活動実践者の交流学习・情報収集や提供・調査研究員等を行うことで社会教育事業の推進に寄与する。											
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
(1) 委員会議題件数				(1) 事業推進率(事業関与÷議題件数)											
(2) 車座トーク参加者数				(2) 車座トーク参加率(参加者数÷トーク定員)											
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度計画		17年度実績		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		件	66		45		36		58		36	36	161.1	
	活動指標(2)		人	47		87		90		62		90	90	68.9	
	成果指標(1)		%	97		93		80		87		80	80	108.8	
	成果指標(2)		%	52		97		70		52		70	70	74.3	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	681		679		1,012		717		862	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円	0		0		0		0		0			
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.48	0.40	1.26	0.33	1.21	0.33	0.75	0.20	0.80			0.40
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	4,317		11,466		10,963		6,795				7,248
		非常勤職員分		千円	1,104		950		954		578				1,156
	総事業費 + +		千円	6,102		13,095		12,929		8,090		9,266			
	単位あたりコスト(-)÷		円	92,455		291,000		359,139		139,483		257,389			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0				
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0				
差引:一般財源 -		千円	6,102		13,095		12,929		8,090		9,266				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
17年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)					
		謝礼								599					
		運営事務費(通信費、消耗品)								118					
		その他 ()								0					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	161.1	活動指標(2)の17年度達成率%	68.9	17年度予算執行率%	70.8
委員ひとりひとりの公益的活動と協働する「車座トーク」や「車座事業」は、区民と区民、区民と行政、課題と課題をつなぐしくみとしての事業展開ができた。しかし、事業目的の周知徹底や、車座委員会の存在が定着していないため、集客率が低くなった。一般区民が容易に理解できる呼びかけ方法のさらなる工夫、参加者の裾野の広がりという部分で課題が残った。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
幅広い区民の参画を得た委員会運営を目指し、委員公募の過程を公開するとともに、その過程そのものを学習素材とする取り組みを継続している。また沿線別の車座トーク開催により、まずは気軽に参加・発言してもらおう場をつくり、またそうした場に参加した区民に対し、委員会へのオブザーバー参加を促した。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化		社会教育事業における区民の参画と協働をすすめるため、13年度末に設置。参画と協働に關しての取り組みは全庁的な動きとなってきている。			
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		行政主催の事業に意見を述べるだけでなく、自ら行動に移せる委員会の設置が評価されている。一方で、実践に裏打ちされた行政計画づくりの視点から、社会教育行政における附属機関である「社会教育委員の会議」との密な連携を求める声がある。			
	今後の予測		実施計画及びスマート計画により、全庁的に「地域人材育成協働システムの構築」に向けた取り組みが行われている。こうした動きと連動しつつ、「地域コーディネーター」としての総合的な力量を発揮する委員会の役割はますます重要になってくると思われる。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)		理由:生涯学習社会の実現のためには、区内で社会教育活動を実践している団体や個人の意見を反映させることが不可欠である。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		理由または具体的内容: 理由または具体的内容:委員ひとりひとりの公益的活動との協働を推進することで、区民の学習機会の増大を図ることができる。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)		理由または具体的内容:委員会設置目的から受益者負担にはなじまない。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)		理由または具体的内容:既に見直しをおこなっており、コストを下げる余地は現時点ではない。			
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)		協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
協働等点検	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)		協働等による成果と課題:委員の公募及び選考過程の公開、会議の公開により、委員会運営の透明性が高まった。			
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 個々の委員の活動から積極的に議題を提案してもらおうと共に、センターのさまざまな事業に積極的に参加してもらい課題を議題にあげていただくなど、委員会運営における協働の成果を社会教育センター事業全体に広げ、試行・実践していく。また、そうした成果を積極的に発信することで、地域づくりにつながる学習の機会の開拓と人材の発掘をさらにすすめる。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積りの方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 委員会は活発に行われており、次期委員選考について公募と推薦のバランスをとり、委員会の継続性と公開性を高めながら、引き続き運営を充実させていく。					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		施設維持管理(社会教育会館)				整理番号	825		枝番号					
担当部課名		教育委員会社会教育スポーツ課		コード	600716		連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	820			
係名					社会教育センター			上位施策名		No				
予算事業名					社会教育会館維持管理		コード	82700		生涯学習環境の整備・充実		62		
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		42 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 教育基本法								
	施設を利用する個人及び団体			(2) 社会教育法										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			(3) 杉並区社会教育センター及び社会教育会館条例及び同条例施行規則										
施設を利用する個人及び団体			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)											
活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
(1) 利用回数			(1) 利用回数 ÷ 施設利用可能回数											
(2)			(2)											
区分	単位	15年度実績		16年度実績		17年度				18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	回	1,719		1,680		3,672		1,682					
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		47		46		100		46					
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,892		2,910		3,387		3,070		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成18年3月31日で、社会教育会館は廃止			
	(内)投資的経費等	千円												
	(内)委託費	千円	1,124		1,191		1,310		1,275					
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.10	5.98	0.63	5.61	0.84	4.44	0.60	6.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	899		5,733		7,610		5,436			0	
		非常勤職員分	千円	16,499		16,157		12,832		17,340			0	
	総事業費 + +	千円	20,290		24,800		23,829		25,846				0	
	単位あたりコスト(-)÷	円	11,803		14,762		6,489		15,366					
	財源	受益者負担分	千円	1,371		1,462		1,408		1,498				
		国・都等からの支出金	千円											
特定財源計 +		千円	1,371		1,462		1,408		1,498		0			
差引:一般財源 -		千円	18,919		23,338		22,421		24,348		0			
受益者負担比率 ÷	%	6.8		5.9		5.9		5.8						
17年度の主な取組み	内 容					規模				単位	事業費(千円)			
	会館光熱費										1,426			
	会館保守管理委託										1,275			
	会館維持管理費										60			
	運営管理費(謝礼、印刷費、通信費、負担金)										309			
	その他 ()										0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	45.8	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	90.6
概ね計画どおり実施。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	廃館に向けての住民説明会を数回実施し、住民の理解を得て、平成17年度末をもって廃館した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和42年度に開設され、区民の生涯学習の場としてきたが、会館主催講座の廃止や区民の自主的な活動により、施設機能が他の類似区立施設と同一になってきた。また、施設の老朽化も著しくなった。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	施設の規模、機能が適当であり、各種団体に継続した活用がなされた。跡地に建設する施設に同様な機能を期待する声があった。				
	今後の予測	廃館した跡地は、図書館(新築)並びにゆうゆう館(改築)として活用される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか		理由:			
	▼					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか		理由または具体的内容:			
	▼					
	成果向上のための方策		理由または具体的内容:			
▼						
(3) 受益者負担の見直し余地は		理由または具体的内容:				
▼						
(4) コストを下げる余地はあるか		理由または具体的内容:				
▼						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか		協働等の今後のあり方:		○ 実施継続 ○ 推進 ○ 行政直轄	
	一部実現している(へ) ▼					
	(2) 協働等の相手		設備のメンテナンス及び清掃業務に関し委託をしている。			
企業・個人事業者(へ) ▼						
(3) 協働等の形態						
委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容) ▼						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: ○ 増 ○ 現状維持 ● 減	コスト: ○ 増 ○ 現状維持 ● 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成17年度末で廃館した。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ○ 増 ○ 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ● 予算なし
	(2) 理由 平成17年度末で廃館した。	

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		にほんご教室				整理番号	826		枝番号						
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600716		連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	821				
係名					社会教育センター			上位施策名		No					
予算事業名					成人教育		コード	81800		生涯学習環境の整備・充実		62			
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		14 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 社会教育法第5条								
	区内在住・在勤・在学で日常生活を送るのに必要な日本語の基礎知識を習得する必要がある者。						(2) にほんご教室実施要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				センオン杉並で日常生活に必要な基本的な会話や読み書きを、レベル別クラスレッスンで学ぶ。 *年間3期、各期20回、各期4クラス開設		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 日常生活に支障のない程度の日本語能力と日本に関する知識を習得する。								
活動指標名(式)				(1) 参加者一人当たりの年間参加可能講座回数 (2) 各期参加者数合計		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 各期修了者数合計 (2) 各期終了者数合計 ÷ 各期参加者数合計									
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%			
							計画	実績	計画	22年度					
指標	活動指標(1)		回	60		60		60	60	60	60	100.0			
	活動指標(2)		人	133		136		120	109	120	120	90.8			
	成果指標(1)		人	115		120		108	78	108	108	72.2			
	成果指標(2)		%	86		88		90	72	90	90	79.5			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	671		689		735	591	735	特記事項 <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 今回から各期参加者数合計に占める各期修了者合計の割合を、成果指標(2)に反映させることにした。 参加費(各期)2,000円はボランティア団体との協定により、団体が直接徴収している。				
	(内)投資的経費等		千円												
	(内)委託費		千円												
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.42	0.00	0.63	0.33	0.58	0.33	0.53			0.30	0.50	0.20
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	3,777		5,733		5,255	4,802			4,530		
		非常勤職員分		千円	0		950		954	867			578		
	総事業費 + +		千円	4,448		7,372		6,944	6,260	5,843					
	単位あたりコスト(-)÷		円	74,133		122,867		115,733	104,333	97,383					
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	0		0		0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	4,448		7,372		6,944	6,260	5,843						
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)					
		謝礼								492					
		運営事務費(図書購入、印刷費、通信費)								99					
		その他 ()								0					

